MacBook
ユーザーズガイド

MacBook コンピュータの設置方法、システムの拡張方法、トラブル対策に関する重要な情報が書かれています

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。

Apple
1 Infinite Loop
Cupertino, CA 95014-2084
U.S.A.
www.apple.com

アップルコンピュータ株式会社
〒 163-1480 東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
東京オペラシティタワー
www.apple.com/jp

本書に記載のその他の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。本書に記載の他社商品名は参考を目的としたものであり、それらの製品の使用を強制あるいは推奨するものではありません。また、Apple Computer, Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

Dolby Laboratories からの実施権に基づき製造されています。「Dolby」、「Pro Logic」、およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories の商標です。非公開機密著作物。

この書類に記載の製品には著作権保護技術が採用されており、同技術は Macrovision Corporation およびその他が所有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。この著作権保護技術の使用には、Macrovision Corporation の許諾が必要です。また、Macrovision Coporation の許諾なしに、家庭内や限られた範囲での視聴目的以外に使用することはできません。リバースエンジニアリングや逆アセンブルは禁止されています。

米国特許番号 4,631,603、4,577,216、4,819,098、および 4,907,093 における装置クレームは限られた範囲での視聴目的に限り使用許諾されています。

目次

設置と準備

1

お求めの MacBook には、次の付属品が同梱されています：

重要：電源コンセントにコンピュータのプラグを差し込む前に、設置手順の解説（および 107 ページの付録 B「安全性、使用、保守に ついての情報」にある安全性に関する情報）をよく読んでください。

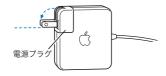
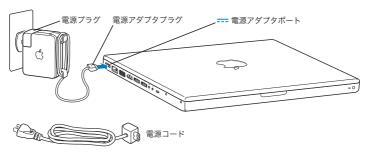
MacBook を設定する

お求めの MacBook は、すばやく設置してすぐに使い始めることができるように設計されています。以降のページでは、次の作業を含む設定手順について説明します：

- Apple MagSafe 電源アダプタ（60W）を接続する
- ケーブルを接続する
- MacBook の電源を入れる
- 「設定アシスタント」を使用してユーザアカウントおよびその他の設定を行う

手順 1：Apple MagSafe 電源アダプタ（60W）を接続する

電源アダプタが保護フィルムで覆われている場合は、MacBook を設定する前に保護フィルムを取り除きます。

- 電源アダプタの電源プラグをコンセントに接続してから、電源アダプタのプラグをMacBookの電源アダプタポートに差し込みます。ポート近くになると、磁気によって電源アダプタプラグが引っ張られます。

警告：電源プラグが電源アダプタにしっかりと接続されていることを確認し、電源プラグの先端を完全に出してから、電源アダプタを電源コンセントに接続してください。

電源アダプタを延長するときは、電源コードを接続できます。最初に電源プラグを上に引っぱってアダプタから取り外し、次に付属の電源コードをアダプタに接続します。もう一方の端を電源コンセントに接続します。33 ページの図を参照してください。

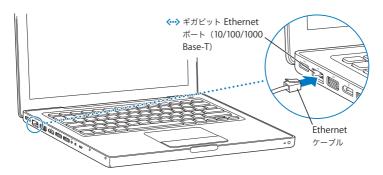
手順 2：ケーブルを接続する

インターネット接続のために、MacBook を DSL モデム、ケーブルモデム、外部モデム、または Ethernet ネットワークに接続します。AirMac Extreme などのワイヤレスネットワークに接続する場合は、ケーブルは必要ありません。

接続の種類については、117 ページの付録 C「インターネットに接続する」を参照してください。

参考：ダイヤルアップ接続には、外部 Apple USB Modem が必要です。オンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）またはアップル製品取扱販売店で購入できます。Apple USB Modem を MacBook の USB ポートに接続し、モデムケーブル（付属していません）をモデムから電話のモジュラージャックにつなぎます。

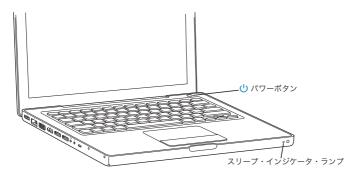
DSL モデム、ケーブルモデム、または Ethernet ネットワークに接続するには：

- モデムのマニュアルの手順に従って、ケーブルを DSL またはケーブルモデムに接続するか、Ethernet コードを Ethernet ハブまたはコネクタに接続します。次に、コードのもう一方の端をコンピュータの Ethernet ポートに接続します。

参考：AirMac を使用してワイヤレスで接続したい場合、お使いのコンピュータの電源を入れると、利用可能なワイヤレスネットワークが AirMac によって自動的に検出されます。必要に応じて、メニューバーにある AirMac（　）ステータスメニューから「AirMac を入にする」を選択してから、AirMac ステータスメニューからネットワークを選択してください。

手順 3：MacBook の電源を入れる

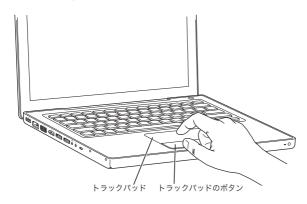
1 MacBook を起動するときは、パワー（⏻）ボタンを押してすぐ（長くても 1 秒以内）に放してください。

コンピュータが正常に動き始めると電子音がします。起動音がしたら、パワーボタンを押さないでください。コンピュータがシステム終了することがあります。

コンピュータが起動されるまでには少し時間がかかります。起動すると、自動的に「設定アシスタント」が開きます。

2 画面上の項目を選択したり動かしたりするときは、デスクトップ型コンピュータのマウスを使うのと同じように、MacBook のトラックパッドを使います。

- 画面上の矢印ポインタを動かすときは、指先をトラックパッドの上で動かします。

重要：ポインタを動かすときは、トラックパッドで 1 本の指で操作してください。2 本の指で操作すると、スクロールできます。スクロール機能は、デフォルトで有効になっています。詳しくは、34 ページの「トラックパッドを使用する」を参照してください。

- 画面上の項目を選択したり、クリックしたり、ダブルクリックしたりするときは、トラックパッドのボタンを押します。

コンピュータの電源が入らないときは

パワー（⏻）ボタンを押しても何の変化もない。

- バッテリーが完全に放電している可能性があります。電源アダプタがコンピュータとコンセントの両方に接続されていることを確認してください。電源アダプタプラグをコンピュータに接続すると、プラグのランプが点灯するはずです。
- それでもコンピュータが起動しない場合は、94 ページの「コンピュータの使用を妨げるトラブル」を参照してください。

点滅する？マークが入ったディスクまたはフォルダのアイコンが表示される。

通常このアイコンは、コンピュータの内蔵ハードディスクやその他のディスク上にシステムソフトウェアが見つからなかったことを示します。すべての外部周辺機器を取り外してから、再起動してみます。コンピュータの電源が切れるまで、パワー（⏻）ボタンを 8 ～ 10 秒間押し続けます。その後、パワーボタンをもう一度押します。それでも問題が解決しない場合は、システムソフトウェアをインストールし直す必要になる場合があります。100 ページの「コンピュータに付属のソフトウェアを再インストールする」を参照してください。

手順 4：設定アシスタントを使用して MacBook の設定を行う

はじめてコンピュータの電源を入れると、「設定アシスタント」が起動します。「設定アシスタント」を使うと、インターネット情報およびメール情報の入力やコンピュータのユーザアカウントの設定を簡単に行うことができます。

ほかの Mac がすでにある場合は、「設定アシスタント」を使って、ファイル、アプリケーション、その他の情報をほかの Mac から新しい MacBook に自動的に転送できます。

情報を転送するときは、次の点を確認してください：

- もう 1 台の Mac に内蔵 FireWire が搭載されていて、FireWire ターゲット・ディスク・モードに対応していること。
- もう 1 台の Mac に Mac OS X v10.1 以降がインストールされていること。
- 標準の 6 ピン -6 ピン FireWire ケーブルがあること。

「設定アシスタント」を使うと、画面に表示される指示に従うだけで、情報を転送することができます。MacBook に情報を転送しても、もう 1 台の Mac の情報に影響はありません。（新しい MacBook にパーティションを設定した場合、もう 1 台の Mac から転送する情報はすべて 1 つのパーティションに格納されます。）

「設定アシスタント」を使って、次の情報を転送できます：

- 環境設定やメールなどのユーザアカウント。
- ネットワーク設定。MacBook が、もう 1 台の Mac と同じネットワーク設定で動作するよう自動的に設定されます。
- ハードディスクおよびパーティション上のファイルとフォルダ。これにより、もう 1 台の Mac で使用していたファイルやフォルダを簡単に利用できます。
- 「アプリケーション」フォルダ。もう 1 台の Mac で使用していたアプリケーションのほとんどが新しい MacBook に転送されます。（転送するアプリケーションによっては、再インストールが必要な場合があります。）

重要：アプリケーションを転送するときは、MacBook にすでにインストールされている新しいバージョンのアプリケーションを上書きしないように注意してください。

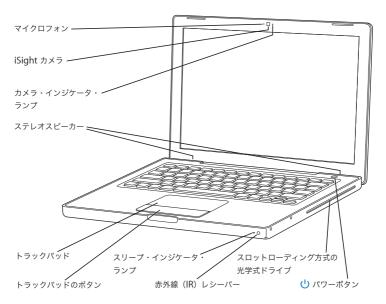
もう 1 台の Mac を保管または使用する予定がない場合は、その Mac について、iTunes Music Store から購入した音楽、ビデオ、オーディオブックなどを再生するための認証を解除することをお勧めします。コンピュータの認証を解除すると、購入した曲、ビデオ、またはオーディオブックが他人に再生されるのを防ぐことができます。また、別のコンピュータを認証できるようになります（1 つの iTunes アカウントで一度に認証できるコンピュータは 5 台までです）。認証の解除については、「iTunes」で「ヘルプ」>「iTunes ＆ミュージックストアヘルプ」と選択し、ヘルプを参照してください。

MacBook をはじめて起動したときに「設定アシスタント」を使って情報を転送しない場合は、後で「移行アシスタント」を使って転送することもできます。「アプリケーション」フォルダに移動し、「ユーティリティ」を開いて、「移行アシスタント」をダブルクリックします。

参考：「設定アシスタント」を使ってもう 1 台の Macintosh から情報を転送した後で、「移行アシスタント」を使って情報をもう一度転送したい場合は、もう 1 台の Macintosh で FileVault が切になっていることを確認してください。FileVault を切にするには、「システム環境設定」の「セキュリティ」パネルを開き、「FileVault 機能を切にする」をクリックします。画面に表示される指示に従って操作します。

「設定アシスタント」を使って、インターネットに接続するためにコンピュータを設定することもできます。ホームユーザがインターネットにアクセスするには、インターネット・サービス・プロバイダ（ISP）に加入する必要があります。別途費用が必要になる場合があります。インターネットアカウントがすでにある場合は、117 ページの付録 C「インターネットに接続する」で入力する必要のある情報を参照してください。

おめでとうございます。これで設定は完了しました。

MacBook の主な構成部品

マイクロフォン
この内蔵マイクロフォン（iSight カメラの左にあります）を使って、サウンドを直接取り込むことができます。

内蔵 iSight カメラとカメラ・インジケータ・ランプ
付属の「iChat AV」アプリケーションを使用して、ほかの人とビデオ会議ができます。ビデオカメラがビデオをキャプチャして表示しているときは、カメラ・インジケータ・ランプが点灯します。

内蔵ステレオスピーカー（× 3）
音楽、ムービー、ゲーム、およびマルチメディアファイルの音を聴くことができます。

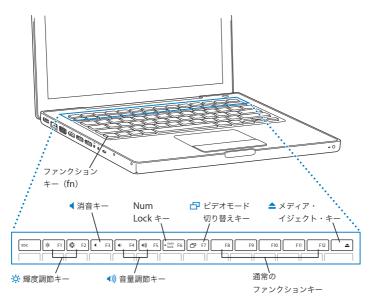
トラックパッド
トラックパッド上で 1 本の指を使って、MacBook のディスプレイに表示されたポインタを動かしたり、2 本の指を使ってスクロールしたりします。

スリープ・インジケータ・ランプ
MacBook がスリープ状態のとき脈打つように白く光ります。

内蔵赤外線（IR）レシーバー
Apple Remote と内蔵の IR レシーバーを使って、MacBook を離れた場所から制御します。

スロットローディング方式の光学式ドライブ
CD および DVD の読み取りと CD への書き込みができます。SuperDrive が内蔵されている場合は、DVD へも書き込みができます。詳しくは、71 ページの「光学式ドライブを使用する」を参照してください。

⏻ **パワーボタン**
MacBook の電源をオン／オフしたり、スリープ状態にしたりします。

MacBook のキーボード機能

ファンクション（Fn）キー
このキーを押しているときは、ファンクションキー（F1 ～ F12）をカスタマイズして割り当てた操作が有効になります。ファンクションキーのカスタマイズ方法については、メニューバーから「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「ファンクションキー」で検索してください。

輝度調節キー
MacBook のディスプレイの輝度を上げたり（☼）下げたり（☼）します。

消音コントロール
内蔵スピーカーやヘッドフォンポートに接続した装置から出力される音声を消します。

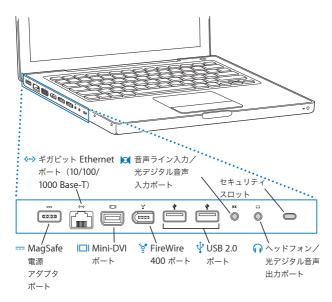
音量調節キー
内蔵スピーカーやヘッドフォンポートに接続した装置から出力される音声の音量を上げたり（🔊）下げたり（🔉）します。

Num Lock キー
MacBook のキーボードに組み込まれているテンキーを有効にします。テンキーが有効な場合は、Num Lock キーの緑色のランプが点灯します。

ビデオモード切り替えキー
デュアルディスプレイモード（デスクトップが内蔵ディスプレイと外部ディスプレイにまたがって表示される）とビデオミラーリングモード（両方のディスプレイに同じ情報が表示される）を切り替えます。

F11、F12
デフォルトでは、F11 では Exposé が開き、F12 では「Dashboard」が開きます。

メディア・イジェクト・キー
このキーを押し続けると、ディスクが取り出されます。デスクトップにあるディスクのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグして、ディスクを取り出すこともできます。

MacBook のその他の構成部品

MagSafe 電源アダプタポート
付属の Apple MagSafe 電源アダプタ（60W）を差し込んで、MacBook のバッテリーを充電できます。

ギガビット Ethernet ポート（10/100/1000 Base-T）
高速な Ethernet ネットワークに接続したり、ほかのコンピュータに接続して、ファイルを転送できます。Ethernet ポートの自動検索機能によって、ほかの Ethernet 装置が自動的に検出されます。接続するために、Ethernet クロスケーブルは必要ありません。

Mini DVI（ビデオ出力）ポート
DVI、VGA、コンポジット、または S ビデオコネクタを使用する外部ディスプレイやプロジェクタを接続できます。接続する外部装置の種類のよっては、Mini-DVI to DVI アダプタ、Mini-DVI to VGA アダプタ、または Mini-DVI to Video アダプタが必要です。これらのアダプタは別売で、www.apple.com/japanstore から購入できます。

FireWire 400 ポート
デジタル・ビデオ・カメラや外部記憶装置などの装置を高速なデータ転送速度で接続できます。

ハイスピード USB 2.0（Universal Serial Bus）ポート（2 基）
プリンタ、外部記憶装置、デジタルカメラ、モデム、キーボード、ジョイスティックなどの外部装置を MacBook に接続できます。

音声ライン入力／光デジタル音声入力ポート
ラインレベルのマイクロフォンやデジタルオーディオ機器に MacBook を接続することができます。

ヘッドフォン出力／光デジタルオーディオ出力ポート
外部スピーカーやヘッドフォン、デジタルオーディオ機器を接続することができます。

セキュリティスロット
盗難防止用のケーブル（別売）を接続することができます。

これらの機能について詳しくは、55 ページの第 3 章「MacBookを使用する」を参照してください。

MacBook をスリープ状態にする／システム終了する

MacBook での作業を終了したら、コンピュータをスリープ状態にするか、システム終了することができます。

MacBook をスリープ状態にする

MacBook を使った作業をしばらく中断するときは、スリープ状態にします。コンピュータがスリープ状態のときは、すぐに元の状態に戻せます（起動の過程は省略されます）。

コンピュータをスリープ状態にするときは、次のいずれかの操作を行います：

- ディスプレイを閉じます。
- メニューバーからアップル（）メニュー＞「スリープ」と選択します。
- パワー（⏻）ボタンを押し、表示されるダイアログで「スリープ」をクリックします。

- アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「省エネルギー」をクリックして、スリープタイマーをセットします。
- Apple Remote の再生／一時停止（▶︎II）ボタンを 3 秒間押し続けます。

警告：スリープランプが点滅し始めるまで数秒間待ってから（スリープランプの点滅は、コンピュータがスリープ状態に入り、ハードディスクの回転が停止していることを示します）、MacBook を持ち運んでください。ハードディスクが回転しているときに持ち運ぶと、ハードディスクが故障して、データが失われたり、ハードディスクから起動できなくなるおそれがあります。

コンピュータを稼働状態に戻すには：

- ディスプレイが閉じているときは、ディスプレイを開けるとMacBookのスリープ状態が解除されます。
- ディスプレイがすでに開いているときは、パワー（⏻）ボタン、キーボード上の任意のキー、または Apple Remote の任意のボタンを押します。

MacBook のシステムを終了する

MacBook を 1 日以上使わない場合は、電源を切ることをお勧めします。システム終了中にスリープランプがわずかに点灯します。

コンピュータの電源を切るには、次のいずれかの操作を行います：

- メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム終了」と選択します。
- パワー（⏻）ボタンを押し、表示されるダイアログで「システム終了」をクリックします。

MacBook を長期にわたって保管するときは、111 ページの「MacBook を保管する」に説明されている手順を参照して、バッテリーの電力が完全に消耗してしまうのを防いでください。

バッテリーを調整する

バッテリーの持続時間を最大にするには、MacBook を購入してから最初の 1 週間ほどの間にバッテリーを調整し、また、ときどき再調整してバッテリーが最大限の能力で動作するようにします。

バッテリーを調整するには：

1. 電源アダプタを接続して、電源アダプタプラグのランプが緑色に変わり、画面上のメニューバーに表示されるバッテリーアイコンでバッテ リーが完全に充電されたことが確認できるまで、MacBook のバッテリーを充電します。
2. 2 時間以上、バッテリーが完全に充電された状態にします。この間、アダプタを接続するのであればコンピュータを使用してもかまいません。
3. MacBook に接続された電源アダプタを取り外し、バッテリー電源で動作するようにします。この間、コンピュータを使用してもかまいません。

   バッテリーが少なくなると、バッテリー不足を知らせる警告が画面に表示されます。
4. スリープ状態になるまでコンピュータを起動したままにします。バッテリーが少なくなったら、システムがスリープ状態になる前に、作業中のファイルを保存し、すべてのアプリケーションを閉じてください。
5. 5 時間以上、コンピュータの電源を切った状態またはスリープ状態にします。
6. 電源アダプタを接続し、バッテリーを再び完全に充電します。

重要：調整手順を 2 カ月ほどに一度は繰り返して、バッテリーが最大限の能力で動作するようにしてください。MacBook をそれほど頻繁には使用しない場合、最低でも 1ヶ月に一度は、バッテリーを再調整することをお勧めします。

追加のバッテリーを購入した場合は、そのバッテリーで同じ調整手順を実行してください。詳しくは、76 ページの「バッテリーを使用する」を参照してください。

詳しい情報を入手する

MacBook について詳しくは、次の情報を参照してください：

- 重要な基本事項については、29 ページの第 2 章「お使いの MacBook について」を参照してください。
- Mac OS X の操作に慣れていない場合は、お使いのコンピュータに付属の小冊子「Welcome to Tiger」や、「Mac ヘルプ」を開いて説明を参照してください。詳しくは、28 ページの「Mac ヘルプで情報を探す」を参照してください。
- コンピュータを使用できなくなる問題が発生した場合は、93 ページの第 5 章「トラブルへの対処方法」を参照してください。
- 127 ページの「質問トップ 10」にある、最もよく尋ねられる質問についても参照してください。
- サポート情報、ユーザの Discussion Board、およびアップルの最新ソフトウェアのダウンロードについては、www.apple.com/jp/support を参照してください。
- 以上の場所を参照しても分からないことがある場合は、お求めのコンピュータに付属の「AppleCare サービス＆サポートガイド」でアップルの連絡先情報を参照してください。

Mac ヘルプで情報を探す

Macintoshの使用に関するほとんどの情報は、お使いのコンピュータの「Macヘルプ」にあります。

「Mac ヘルプ」を表示するには：

1 「Dock」（画面下部に表示されるアイコンのバー）の「Finder」アイコンをクリックします。

2 「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択します（メニューバーの「ヘルプ」メニューをクリックして「Mac ヘルプ」を選びます）。

3 検索欄をクリックして質問を入力し、キーボードの Return キーを押します。

お使いの MacBook について　2

この章では、MacBook の重要な基本機能を紹介します。

コンピュータを持ち運ぶときは、MacBook の使用を停止した後、必ず、ハードディスクおよびドライブ内の光学式ディスク（CD や DVD など）の回転が止まるまでしばらく待ってください。ディスクが回転している間は、MacBook を揺らしたりぶつけたりしないように注意してください。

参考：お使いの MacBook には、コンピュータが落下したり震えたりした場合にハードディスクを保護する技術として、緊急モーションセンサーテクノロジーが搭載されています。詳しくは、76 ページの「緊急モーションセンサーについて」を参照してください。

MacBook の使用時やバッテリーの充電時には本体の底面がやや熱を持ちますが、これは異常ではありません。長時間使用する場合は、平らな安定した場所に MacBook を置いてください。換気によって本体内部の温度を通常の動作時温度の範囲内に保つため、本体の底面は少し高くなっています。

起動時や、ハードディスクや光学式ドライブの使用時に、システム音が聞こえることがあります。MacBook を起動してしばらくすると、コンピュータを冷やすために小さなファンが回転して、かすかな音がすることがあります。これらのシステム音は、コンピュータの正常な動作の一部です。

MacBook をさまざまな場所で扱ったり使用したりするときは、107 ページの付録 B「安全性、使用、保守に ついての情報」に記載されている安全上の注意を必ずお読みください。

この章のこれ以降には、ディスプレイ、電源アダプタ、トラックパッド、キーボード、内蔵 iSight カメラ、Apple Remote などの MacBook のパーツの使用についての情報などのセクションが含まれます。また、Mac OS X、Mac ヘルプ、アプリケーション、および周辺機器への接続についての情報もあります。

ディスプレイを調節する

新しい MacBook を使い始めると、画面が見やすくなるようにディスプレイの輝度の調節が必要になることがあります。画面の輝度を調節するには、輝度（☼）アイコンの付いた、F1 キーと F2 キーを使います。

バッテリー使用を最適化するディスプレイの環境設定を設定するには：

1. 「システム環境設定」を開き、「省エネルギー」をクリックします。
2. 「設定対象」ポップアップメニューから「バッテリー」を選択し、「オプション」をクリックします。
3. バッテリー消費を抑えるためにディスプレイが暗くなるのを防ぐには、「この電源を使用するときは内蔵ディスプレイの明度を下げる」を選択解除します。

この機能が設定されているとき、MacBook が電源アダプタではなくバッテリーの電力で稼働している間、ディスプレイが少し暗くなります。再度電源アダプタに接続すると、ディスプレイは元の明るさに戻ります。

MacBook がスリープ状態になる前にディスプレイが暗くなるのを防ぐには、「ディスプレイがスリープ状態になる前にディスプレイの明度を自動的に下げる」を選択解除します。

画面上の画像の大きさを変更する

お使いの MacBook は、13.3 インチのワイドスクリーンディスプレイを搭載しています。ディスプレイのデフォルトの解像度は、1280 × 800 に設定されています。画面の解像度を変更すれば、ディスプレイに表示される画像の大きさを変更できます。

「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルで、より低い解像度を選択できます。より低い解像度に切り替えると、画面上の項目が大きくなり、より見やすくなります。ただし、低い解像度を選択すると、ディスプレイのデフォルトの解像度のときほど画面が鮮明にならない場合があります。

解像度によっては、ディスプレイの両端に黒い帯が表示されます。帯を表示したくない場合は、その解像度でワイド表示を使用するように設定すると、画面全体に画像が拡張して表示されるので、帯を消すことができます。

ディスプレイの解像度を変更するには：

- メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルを開きます。

メニューバーに表示されるディスプレイのステータスメニューを使って、画面の解像度を変更できるようにするには、「メニューバーにディスプレイを表示する」をクリックします。

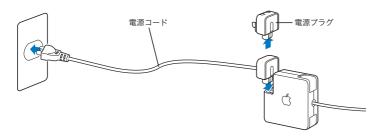
電源アダプタを使用する

電源アダプタを使って MacBook をコンセントに接続すると、コンピュータに取り付けられているバッテリーが充電されます。

重要：最適なパフォーマンスを得るには、コンピュータに付属の電源アダプタのみを使用するか、追加の Apple MagSafe 電源アダプタ（60W）を購入してください。

電源アダプタをはじめてコンピュータに接続すると、電源アダプタプラグのインジケータランプが点灯します。オレンジ色のランプは、バッテリーに電力が供給されていることを示します。緑色のランプは、バッテリーに電力が供給されていないことを示し、バッテリーが充電済みである、バッテリーが取り付けられていない、またはバッテリーに問題がある場合のいずれかを意味します。ランプが点灯しない場合は、プラグが正しく接続されていない可能性があります。破片やゴミが入っていないか確認し、取り除いてください。メニューバーにあるバッテリーのステータスメニューを使うか、またはバッテリーの下部にあるバッテリー・レベル・インジケータ・ランプを確認して、バッテリーのレベルを監視することができます（76 ページを参照）。

警告：MacBook の電源アダプタポートには磁石が含まれており、磁石によってクレジットカード、iPod、およびその他のデバイス上のデータが消去されるおそれがあります。データを守るために、電源アダプタポートにこれらおよびその他の磁気メディアを近づけないようにしてください。

電源アダプタを延長するには、最初に電源プラグを上に引っぱってアダプタから取り外します。付属の電源コードをアダプタに接続し、しっかり取り付けられていることを確認します。もう一方の端を電源コンセントに接続します。電源コードを接続すると接地できます。

接地電源コンセントがあるときは、常に電源コードを接続して接地してください。電源コードは、お求めの電源アダプタに付属しているものだけを使用してください。電源プラグをコンピュータの電源アダプタポートにしっかりと差し込んで、プラグが正しく接続され、コンピュータに電源が供給されていることを確認してください。コードが正しく接続されている場合は、MacBookに接続されている側の端にあるインジケータランプが点灯します。

電源アダプタをコンセントまたはコンピュータから抜くときは、コードではなくプラグを持って抜いてください。電源アダプタを使用する上での安全性について詳しくは、109 ページの「MacBook と電源アダプタを接続する」を参照してください。

トラックパッドを使用する

画面上でポインタが動く距離は、トラックパッドで指を動かす速さによって決まります。ポインタを少しだけ動かしたいときは、トラックパッド上で指先をゆっくりと動かしてください。指を早く動かすと、画面上でのポインタの移動距離は長くなります。トラックする速度は、「システム環境設定」の「キーボードとマウス」パネルで調節できます。

トラックパッド上で 2 本の指を動かすことによって、スクロールバーのあるウインドウを縦または横にスクロールすることができます。このオプションは、「システム環境設定」の「キーボードとマウス」パネルで有効にしたり無効にしたりできます。

トラックパッドの操作について

トラックパッドを使う際に注意すること：

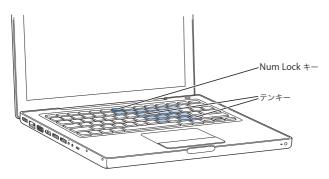
- スクロール機能が有効になっていてスクロール操作をするとき以外は、1 本の指で操作してください。
- ペンなどは使用しないでください。
- 指先やトラックパッドをぬらさないでください。湿気や水蒸気によってトラックパッドが湿ってきたときは、トラックパッドを操作する前に、きれいな布で慎重にふいてください。
- 洗剤を使ってトラックパッドを清掃しないでください。

トラックパッドの使用について詳しくは、画面の上部にあるメニューバーから「ヘルプ」>「Mac ヘルプ」と選択してください。

トラックパッドのボタンに加え、指を使って、トラックパッドで直接クリックおよびダブルクリックすることができます。トラックパッドのこれらの機能やその他のオプションは、「システム環境設定」の「キーボードとマウス」パネルで選択できます。

参考：気付かないうちにトラックパッドに触れて、ポインタが移動してしまうことがよくある場合は、「システム環境設定」の「キーボードとマウス」パネルで「偶発的なトラックパッドの入力を無視する」オプションを設定すると、この問題を防ぐことができます。

キーボードを使用する

MacBook のキーボードには、通常のキーボードのキーにテンキーが組み込まれています。テンキーとして使用されるキーには、小さな文字が表示されています。

テンキーを使うときは、Num Lock キーを押します。テンキーが有効なときは、Num Lock キーのインジケータランプが点灯します。テンキーを使い終わったら、Num Lock キーをもう一度押して使用を停止してください。

重要：キーボードが正しく動作しない場合は、Num Lock キーを確認してください。テンキーが使用可能になっている間は、ほかのキーやメニュー項目のキーボードショートカット（たとえば、「終了」の ⌘ ＋ Q など）は使用できません。

「Front Row」アプリケーションを制御するのに、Apple Remote とキーボードを使用することができます。41 ページの「キーボードを使用して「Front Row」を制御する」を参照してください。

キーボードショートカットを使って効率的に作業を行いたい場合は、「Mac ヘルプ」を開き、「キーボードショートカット」を検索してください。よく使うさまざまな操作およびアプリケーションのキーボードショートカットのリストを参照できます。

マウスを使用する

USB コネクタのあるアップル製マウスをお持ちの場合は、USB コネクタを USB 2.0 ポートに接続してすぐにマウスを使うことができます。Apple Wireless Mouse をお持ちの場合、接続方法については、64 ページの「Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用する」を参照してください。ワイヤレスマウスまたは USB マウスは、オンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）またはアップル製品取扱販売店で購入できます。

Apple Remote と「Front Row」を使用する

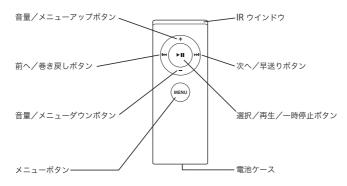
Apple Remote は、「Front Row」インターフェイスおよび内蔵の赤外線（IR）レシーバーと共に動作します。レシーバーは、MacBook の前面の右下にあります。Apple Remote を使うと、部屋の中の離れた場所から「Front Row」を開いて、「iTunes」、「iPhoto」、「iMovie」、「DVD プレーヤー」などで操作できます。

Apple Remote を使用して、次の操作ができます：

- 「Front Row」を開き、「ミュージック」、「写真」、「ビデオ」、および「DVD」メニューを移動する。
- 「iTunes」で、曲の音量調節、曲の再生または一時停止、次または前のトラックへの移動を行う。
- 「iPhoto」で、フォトアルバムのスライドショーを再生する。
- 「ムービー」フォルダ内のムービーを再生したり、オンラインで QuickTime ムービーによる映画の予告編を視聴したりする。
- 光学式ドライブ内の DVD を「DVD プレーヤー」で再生する。
- 「Keynote」のプレゼンテーションを操作する。
- MacBook をスリープ状態にする／スリープを解除する。

Apple Remote を使って「Front Row」を操作するには、MacBook に向けて、以下の操作をします：

- 「Front Row」を起動／終了したり、「Front Row」の操作中に前のメニューに戻るには、「メニュー」（MENU）ボタンを押します。
- 「Front Row」でアプリケーションを切り替えるには、「次へ／早送り」（⏭）ボタンまたは「前へ／巻き戻し」（⏮）ボタンを押します。
- メニューを移動したり音量を調節したりするときは、「音量／メニューアップ」（+）ボタンと「音量／メニューダウン」（−）ボタンを押します。

- メニューを選択したり、曲、スライドショー、ビデオ、または DVD を再生／一時停止したりするときは、「選択／再生／一時停止」（►II）ボタンを押します。
- メディアのコンテンツを次へ進めたり前へ戻ったりするには、「次へ／早送り」（►►I）ボタンまたは「前へ／巻き戻し」（I◄◄）ボタンを押します。早送り／巻き戻しするには、ボタンを押し続けます。
- MacBook をスリープ状態にするには、「選択／再生／一時停止」（►II）ボタンを 3 秒間押し続けます。

「Keynote」で Apple Remote を使用する

「Keynote」がインストールされている場合、Apple Remote を使ってプレゼンテーションを操作できます。「Keynote」が開いている状態で「選択／再生／一時停止」(►II) ボタンを押すと、プレゼンテーションが始まります。Apple Remote を MacBook に向けて、ボタンを押して「Keynote」を操作します。アプリケーションの動作状態（プレゼンテーションかスライドオーガナイザーか）によって、次の表のように動作が異なります。

操作するボタン	プレゼンテーションでの動作	スライドオーガナイザーでの動作
►II（選択／再生／一時停止）	一時停止する／再開する	選択したスライドにジャンプする
MENU（メニュー）	スライドオーガナイザーを起動する	スライドオーガナイザーを終了する
MENU の長押し	終了する	プレゼンテーションを終了する
⏮（前へ／巻き戻し）	前のスライドに移動する	前のスライドを選択する
⏮ の長押し	最初のスライドにジャンプする	
⏭（次へ／早送り）	次のスライドに移動する	次のスライドを選択する
⏭ の長押し	最後のスライドにジャンプする	
+（音量／メニューアップ）	音量を上げる	音量を上げる
–（音量／メニューダウン）	音量を下げる	音量を下げる

Apple Remote を登録する

1 つの部屋に複数のコンピュータまたはその他の IR レシーバー内蔵装置がある場合（ホームオフィスや研究室に複数の MacBook や iMac がある場合など）は、お使いの Apple Remote を特定のコンピュータまたは装置で使えるように「登録」できます。登録すると、受信側のコンピュータまたは装置は、特定の Apple Remote でのみ操作できるように設定されます。

Apple Remote を MacBook に登録するには：

1 Apple Remote を、MacBook の IR レシーバーから 10 cm のところに置きます。

2 Apple Remote の「メニュー」（MENU）ボタンと「次へ／早送り」（⏭）ボタンを同時に 5 秒間押したままにします。

Apple Remote を MacBook に問題なく登録できた場合には、鎖の輪の記号（⊂⊃）が画面に表示されます。

Apple Remote と MacBook 間の登録を解除するには：

1 メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。

2 「セキュリティ」をクリックして、「登録解除」をクリックします。

バッテリーを取り付ける

Apple Remote には、再充電できないボタン電池が含まれます。必要に応じて、ボタン電池 CR 2032 と交換してください。バッテリーは再充電しないでください。

小さく先の尖っていないものでこのボタンを押し、電池ケースを少し引き出します。

プラス（+）側を上にします。

電池ケースを引いて外します。

交換用のバッテリーを取り付けるには：

1 クリップの先などの小さな物でボタンを押して電池ケースを開きます（上の図を参照）。

2 電池ケースを引き出し、ボタン電池を取り外します。

3 交換用のボタン電池を、プラス（＋）側を上にした状態で挿入します。

4 電池ケースを閉じます。

IR 受信を切にする

「セキュリティ」環境設定を使って、お使いの MacBook の IR 受信を入または切にできます。

IR 受信を切にするには：

- メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「セキュリティ」をクリックします。
- 「赤外線レシーバーのリモートコントロールを無効にする」チェックボックスを選択します。

キーボードを使用して「Front Row」を制御する

Apple Remote で「Front Row」を制御するのに加えて、キーボードを使用することもできます。以下のキーが Apple Remote のボタンに相当します：

キーボード上	Apple Remote ボタン
コマンド（⌘）＋ Esc キー	「メニュー」を開始（MENU）
Esc キー	「メニュー」を終了（MENU）
スペースバーまたは Return キー	選択／再生／一時停止（▶︎❙❙）
上矢印（↑）キー	音量／メニューアップ（+）
下矢印（↓）キー	音量／メニューダウン（−）
右矢印（→）キー	次へ／早送り（▶︎▶︎❙）
左矢印（←）キー	前へ／巻き戻し（❙◀︎◀︎）

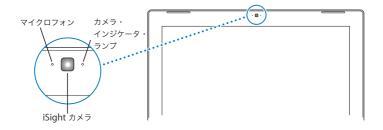
Apple Remote についての詳しい情報を入手する

お使いの Apple Remote についての詳細情報は「Mac ヘルプ」で参照できます。メニューバーから「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「Apple Remote」で検索してください。

内蔵 iSight カメラを使用する

内蔵 iSight カメラを使うと、「Photo Booth」で写真の撮影をしたり、ほかの iChat AV ユーザとビデオチャットをしたりできます。

「Photo Booth」で写真を撮影する

「Photo Booth」を使って、写真を撮影して、「セピア」、「白黒」、「グロー」、「色鉛筆」など、楽しい視覚効果を追加することができます。

「Photo Booth」で写真を撮影するには：

1 「Dock」の「Photo Booth」アイコンをクリックして「Photo Booth」を起動してから、内蔵 iSight カメラを入にします。

カメラの電源が入っているときは、カメラの横のインジケータランプが点灯します。

2 好みに応じて、写真に適用する効果を選びます。

3 イメージの下の「カメラ」アイコンをクリックして、写真を撮影します。

写真を iChat メンバーのピクチャとして保存したり、友人にメールで送信したり、iPhoto ライブラリに保存したりします。

写真をメンバーのピクチャまたはアカウントピクチャとして使用するには：

1 「Photo Booth」を起動し、写真を撮影します。

2 メンバーのピクチャまたはアカウントピクチャとして使用する写真を選びます。

3 「メンバーのピクチャ」アイコンまたは「アカウントピクチャ」アイコンをクリックすると、ピクチャが自動的にアップデートされます。

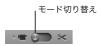
「Photo Booth」について詳しくは、メニューバーから「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、次に「ライブラリ」＞「Photo Booth ヘルプ」と選択すると参照できます。

iSight カメラを「iMovie HD」で使用する

内蔵 iSight カメラからライブビデオを、「iMovie HD」へ直接取り込むことができます。

ライブビデオを取り込むには：

1 「Dock」の「iMovie HD」アイコンをクリックして「iMovie HD」を起動します。

2 モード切り替えをクリックして「iMovie HD」を内蔵カメラモードに設定します。

3 モード切り替えの左のカメラアイコン側をクリックし、ポップアップメニューで「内蔵 iSight」を選択します。

4 iMovie モニタで「iSight で録画」ボタンをクリックし、録画を開始します。iMovie モニタに表示されるビデオが、iMovie の「クリップ」パネル内にクリップとして録画されます。

5 「iSight で録画」ボタンをもう一度クリックし、録画を終了します。MacBook で空きディスク容量に保存できる分の長さの録画ができます。

「iMovie HD」についての詳細情報は「Mac ヘルプ」で参照できます。メニューバーから「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、次に「ライブラリ」＞「iMovie HD ヘルプ」と選択します。

「iChat AV」を使用してビデオ会議を行う

「iChat AV」を起動すると、カメラ・インジケータ・ランプが点灯します。ほかの iChat AV ユーザと、フルモーションビデオによるリアルタイムのビデオ会議をするには、そのメンバーのビデオアイコンをクリックします。お使いの MacBook にはマイクも内蔵されているので、iChat AV ビデオ会議で音声とビデオの両方を利用できます。

内蔵 iSight を使ってビデオ会議を行うには、次のものが必要です：

- .Mac、AOL（America Online）、または AOL インスタントメッセンジャー（AIM）アカウント（iChat AV に必要です）。
- DSL モデム、ケーブルモデム、またはローカル・エリア・ネットワーク（LAN）によるブロードバンドインターネット接続。ダイヤルアップインターネット接続では使用できません。

ビデオ会議を開始するには：

1 「iChat AV」を開きます。

2 メンバーリストでメンバーの横にある「カメラ」ボタンをクリックします。

メンバーリストにメンバーを追加する方法については、「ヘルプ」＞「iChat AV ヘルプ」と選択してください。

メンバーリストで「カメラ」ボタンをクリックすると、カメラ・インジケータ・ランプが点灯して、ビデオを表示中であることが示されます。また、ビデオ要求を受け入れるための参加依頼がメンバーに送信され、カメラに自分がどのように映っているかがプレビューとして表示されます。メンバーが参加依頼を受け入れると、自分自身と同時にメンバーも画面に表示されます。

複数のメンバーとビデオ会議を行う

1 度に最大で 3 人までのメンバーとビデオ会議ができます。1 人のメンバーがビデオ会議のホストになり、ほかのメンバーは参加者になります。

複数のメンバーとのビデオ会議を開始するには：

1 「iChat AV」を開きます。

2 コマンドキーを押しながら、参加依頼するメンバーを選択します。

3 メンバーリストの下にある「カメラ」ボタンをクリックします。

iSight カメラを切にする

iSight カメラを切にするには、最前面の iChat ウインドウを閉じます。カメラ・インジケータ・ランプが消えて、iSight カメラが切で記録が停止されていることが示されます。

自分のメンバーのピクチャとして写真を使用する

iSight カメラで自分のピクチャを撮影し、自分のメンバーピクチャとして使うことができます。ほかのメンバーのメンバーリストに自分が追加されると、そのメンバーリストにこの写真が表示されます。

自分のメンバーのピクチャを設定するには：

1 「iChat AV」を開きます。

2 「メンバー」＞「自分のピクチャを変更」と選択します。

3 「カメラ」ボタンをクリックします。

Mac OS X について

お使いのコンピュータには、Mac OS X v10.4 Tiger が搭載されています。これには、すべてのファイルのインデックスを自動的に作成する検索エンジン「Spotlight」、「ウィジェット」と呼ばれる便利で小さいアプリケーションをすぐ手元に表示するための「Dashboard」、開いているすべてのアプリケーションを分かりやすく並べて表示する「Exposé」などが含まれています。

Mac OS X、およびお使いのコンピュータに付属している、数々の賞を受賞した iLife アプリケーションについてさらに詳しく知りたいときは、お使いの MacBook に付属の冊子「Welcome to Tiger」、または「Mac ヘルプ」の情報を参照してください。Mac OS X の使用中に問題が発生した場合は、第 5 章「トラブルへの対処方法」または「Mac ヘルプ」を参照してください。

Mac OS X とソフトウェア・アプリケーションの互換性に関する情報や、Mac OS X についてもっと詳しく知りたいときは、アップルの Web サイト（www.apple.com/jp/macosx）を参照してください。

デスクトップをカスタマイズする／環境設定を行う

「システム環境設定」を使用すると、デスクトップの外観を好みに合わせて簡単に変更できます。メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。

次のパネルでいろいろと変更して試してみてください：

- アピアランス：この環境設定パネルでは、ボタン、メニュー、ウインドウ、およびハイライトの色などのオプションを変更できます。
- Dashboard と Exposé：この環境設定パネルでは、画面のコーナーへの機能割り当てと、「Dashboard」、デスクトップ、アプリケーションウインドウ、およびすべてのウインドウのショートカットの設定ができます。

- デスクトップとスクリーンセーバ: この環境設定パネルでは、デスクトップの背景の色やパターンを変更したり、背景を好きな写真や画像に変更したりすることができます。また、コンピュータをしばらく操作しなかったときに画面に表示される美しいスクリーンエフェクトを変更することもできます。
- Dock：この環境設定パネルでは、「Dock」（画面下部に表示されるアイコンのバー）のサイズ、位置、および動作を変更できます。

コンピュータに慣れてきたら、ほかのシステム環境設定も試してみてください。「システム環境設定」では、お使いのMacBook のさまざまな設定を変更できます。詳しくは、「Mac ヘルプ」を開き、「システム環境設定」または使用したい特定の環境設定のパネルを検索してください。

参考：アップルでは、システムソフトウェア、アプリケーション、インターネットサイトを頻繁に更新し、新しいバージョンをリリースしています。そのため、このマニュアルに示されている画像は、実際の画面に表示されるものと多少異なる場合があります。

アプリケーションを使用する

お使いの MacBook には、メールの送信、ネットサーフィン、オンラインチャットなどを行うためのアプリケーションが付属しています。また、音楽やデジタル写真を整理したり、ムービーや Web サイトを作成したりするための iLife アプリケーションスイートも付属しています。これらのアプリケーションについて詳しくは、お使いのコンピュータに付属 の冊子「Welcome to Tiger」を参照してください。

アプリケーションが応答しないときは

まれに、アプリケーションが画面上で「操作不能」になることがあります。Mac OS X には、コンピュータを再起動せずに、操作不能になったアプリケーションを終了する方法が用意されています。操作不能になったアプリケーションを終了すると、開いているほかのアプリケーションでの作業を保存できる場合があります。

アプリケーションを強制終了するには：

1 コマンド（⌘）＋ Option ＋ Esc キーを押すか、メニューバーからアップル（）メニュー＞「強制終了」と選択します。

「アプリケーションの強制終了」ダイアログが表示され、問題のアプリケーションが選択されます。

2 確認のためのダイアログで「強制終了」をクリックします。

問題のアプリケーションが終了します。ほかのアプリケーションはすべて開いたままになります。

また必要に応じて、このダイアログから「Finder」を再起動することもできます。

アプリケーションに関するその他の問題が発生した場合は、93 ページの第 5 章「トラブルへの対処方法」を参照してください。

ソフトウェアを最新の状態に保つ

インターネットに接続し、無料の最新ソフトウェアバージョン、ドライバ、およびその他の強化機能をアップルから自動的にダウンロードしてインストールできます。

インターネットに接続されている場合、「ソフトウェア・アップデート」がアップルのインターネットサーバをチェックして、お使いのコンピュータで利用できるアップデートがあるかどうかを確認します。お使いの Mac が定期的にアップルのサーバをチェックして、アップデートされたソフトウェアをダウンロードしてインストールするように設定することもできます。

アップデートされたソフトウェアを確認するには：

1. 「システム環境設定」を開きます。
2. 「ソフトウェア・アップデート」アイコンをクリックし、画面に表示される指示に従います。

- 詳しくは、「Mac ヘルプ」で「ソフトウェア・アップデート」を検索してください。
- Mac OS X に関する最新情報は、Mac OS X の Web サイト（www.apple.com/jp/macosx）を参照してください。

プリンタに接続する

必要なソフトウェアをインストールしてプリンタを接続するには、プリンタに付属のマニュアルの指示に従ってください。Mac OS X には、ほとんどのプリンタのドライバが内蔵されています。

ほとんどのプリンタは、USB ケーブルを介して接続できます。Ethernet などのネットワーク接続が必要なプリンタもあります。AirMac Express ベースステーションまたは AirMac Extreme ベースステーションをお持ちの場合は、USB プリンタをコンピュータではなくベースステーションに接続して、ワイヤレスでプリントすることができます。USBポートについて詳しくは、56 ページの「USB（Universal Serial Bus）装置を使用する」を参照してください。ワイヤレスまたはネットワーク接続について詳しくは、63 ページの「AirMac がワイヤレスインターネット接続を提供するしくみ」および 66 ページの「Ethernet で接続する」を参照してください。

USB プリンタを接続すると通常は、コンピュータが自動的にプリンタを検出し、使用可能なプリンタをリストに追加します。ネットワークに接続されたプリンタからプリントする場合は、プリンタのネットワーク名またはアドレスが必要になる場合があります。プリンタを選択するには、「システム環境設定」の「プリントとファクス」パネルを使います。

参考：プリンタが動作しない場合は、プリンタ製造元の Web サイトで、インストールする必要のある互換性のあるプリンタドライバのソフトウェアがないか確認してください。

プリンタを設定するには：

1 「システム環境設定」を開き、「プリントとファクス」アイコンをクリックします。
2 「プリント」をクリックしてから、「追加」（+）ボタンをクリックして、プリンタを追加します。
3 使用するプリンタを選択し、「追加」をクリックします。
4 プリンタリストに表示されるプリンタを選択するときは、「追加」（+）ボタンと「取り除く」（–）ボタンを使用します。

プリント処理を監視する

プリンタに書類を送信した後で、プリント処理を監視したり、プリントジョブを停止または一時保留したりすることができます。「Dock」にある「プリンタ」アイコンをクリックして、「プリンタ」ウインドウを開きます。詳しくは、「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選択し、「プリント」で検索してください。

CD を再生する／ヘッドフォンを接続する

音楽、ビデオ、Podcast、およびオーディオブックをダウンロードして保存できる、操作が簡単なデジタルジュークボックス「iTunes」を使って、コンピュータで作業中に「iTunes」の音楽や CD を聴くことができます。光学式ドライブに音楽 CD をセットすると、画面に「iTunes」が自動的に表示されます。音楽は、MacBook の内蔵スピーカーで聴いたり、ヘッドフォンを MacBook のヘッドフォンポートに接続して 1 人だけで聴くことができます。

「iTunes」について詳しいことを知るには：

- 「iTunes」を開き、「ヘルプ」＞「iTunes &ミュージックストアヘルプ」と選択します。

カメラまたはその他の FireWire 装置や USB 装置を接続する

FireWire コネクタまたは USB コネクタを装備した iPod、デジタルカメラ、ビデオカメラ、スキャナまたはその他の装置をお持ちの場合は、それらの装置を MacBook に接続できます。接続については、装置に付属の説明書の指示に従ってください。FireWire について詳しくは、59 ページの「FireWire で接続する」を参照してください。USB について詳しくは、56 ページの「USB（Universal Serial Bus）装置を使用する」を参照してください。

ほかのコンピュータとの間でファイルを転送する

ほかのコンピュータとの間でファイルまたは書類を転送するには、いくつかの方法があります。

- 「移行アシスタント」と FireWire ケーブル（別売）を使って、あらゆるファイルを簡単に転送することができます。
- FireWire ケーブルを使ってほかの Mac に接続し、お使いの MacBook を FireWire ターゲット・ディスク・モードで起動することができます。お使いの MacBook がほかのコンピュータ上でハードディスクとして表示され、そこにファイルをドラッグできます。FireWire を使ったファイルの転送について詳しくは、62 ページの「FireWire を使用して MacBook を別のコンピュータに接続する」を参照してください。
- 外部ハード・ディスク・ドライブ、iPod、フラッシュドライブ、または USB ケーブルや FireWire ケーブルを介して接続するその他のデータ記憶装置がある場合は、それを使ってファイルを転送できます。
- メールの送受信ができる場合は、ファイルを別のコンピュータにメール送信できます。

- アップルの .Mac アカウント（有料）に登録すると、そのアカウントを使ってファイルを転送できます。.Mac アカウントを取得すると、ファイルをバックアップおよび保管するためのインターネット上の場所である iDisk を利用できるので、そこにファイルを転送してほかのコンピュータからアクセスできます。
- 記録可能な光学式ドライブを使うと、転送するファイルを CD または DVD ディスクに記録できます。
- Ethernet を使ってネットワークに接続すると、ネットワーク上の別のコンピュータとファイルを交換できます。サーバまたはほかのコンピュータにアクセスするには、「Finder」のサイドバーで「ネットワーク」をクリックするか、メニューバーから「移動」＞「サーバへ接続」と選択します。
- お使いのMacBookからほかのコンピュータのEthernetポートにEthernetケーブルを接続して、小規模な Ethernet ネットワークを作成できます。接続が確立したら、コンピュータ間でファイルを直接転送できます。詳しくは、「Mac ヘルプ」を開き、「2 台のコンピュータを接続する」を検索してください。
- AirMac Extreme ワイヤレスネットワークに接続して、ファイルを転送できます。詳しくは、63 ページの「AirMac がワイヤレスインターネット接続を提供するしくみ」を参照してください。
- Bluetooth® ワイヤレステクノロジーを使って通信する装置にアクセスできる場合は、Bluetooth を搭載しているほかの装置にファイルを転送できます。詳しくは、64 ページの「Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用する」を参照してください。

ファイルや書類の転送について詳しくは、「Mac ヘルプ」を開いて、「転送する」または目的の接続方法を検索してください。

MacBook を使用する

3

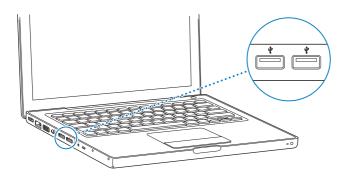
MacBook には、さまざまな内蔵機能や接続機能が搭載されています。

以下のような機能があります：

- iPod、プリンタ、スキャナ、およびその他の装置を接続するための USB（Universal Serial Bus）2.0 ポート。56 ページの「USB（Universal Serial Bus）装置を使用する」を参照してください。
- デジタル・ビデオ・カメラ、外部ハード・ディスク・ドライブなどの装置を高速なデータ転送で接続するための FireWire 400 ポート。59 ページの「FireWire で接続する」を参照してください。
- Bluetooth ワイヤレス接続、AirMac Extreme ワイヤレスネットワーク機能、およびギガビット Ethernet ネットワーク機能。64 ページの「Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用する」、63 ページの「AirMac がワイヤレスインターネット接続を提供するしくみ」、および 66 ページの「Ethernet で接続する」を参照してください。
- ヘッドフォン、スピーカー、およびデジタルオーディオ機器を接続するための、音声ライン入力／光デジタル音声入力ポートおよびヘッドフォン／光デジタル音声出力ポート。70 ページの「スピーカーやその他のオーディオ装置を接続する」を参照してください。

- Mini-DVI to DVI アダプタまたはMini-DVI to VGAアダプタを使って、MacBookを外部ディスプレイに接続するための Mini-DVI ビデオ出力。コンポジットまたは S ビデオ接続が必要なビデオ装置を接続するときは、Mini-DVI to Video アダプタを使用します。アダプタはすべて別売です。67 ページの「外部ビデオ出力機能を使用する」を参照してください。
- CD およびDVD の再生やCD の作成を行うためのスロットローディング方式の光学式ドライブ。SuperDrive が内蔵されている場合は、DVD も作成できます。71 ページの「光学式ドライブを使用する」を参照してください。
- MacBook が落下したり震えたりした場合に内蔵ハードディスクを保護するための緊急モーション・センサー・テクノロジー。76 ページの「緊急モーションセンサーについて」を参照してください。
- 使いやすく、バッテリーの状態が一目で分かる、MacBook バッテリー。76 ページの「バッテリーを使用する」を参照してください。
- MacBook を固定して盗難から守るためのセキュリティスロット。81 ページの「MacBook のセキュリティを保つ」を参照してください。

USB（Universal Serial Bus）装置を使用する

お使いの MacBook には、「ハイスピード USB」とも呼ばれる USB 2.0（ψ）ポートが 2 基装備されています。iPod、プリンタ、スキャナ、デジタルカメラ、ゲームパッド、ジョイスティック、キーボード、フロッピーディスクドライブなどのさまざまな外部装置を接続するときに使用できます。USB 2.0 ポートは、以前の USB 装置とも互換性があります。USB 装置の多くは、コンピュータの動作中に接続や取り外しができます。装置は、接続するだけですぐに使用できます。コンピュータを再起動したり、設定し直したりする必要はありません。

コンピュータで USB 装置を使用するときは、その装置をコンピュータに接続します。新しく接続した装置が自動的に検出され、その装置を操作するための適切なソフトウェアが読み込まれます。

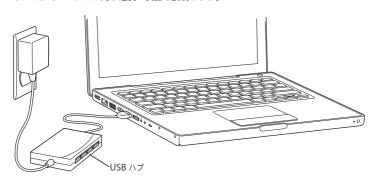
参考：USB 装置を接続しても MacBook が適切なソフトウェアを検出できない場合は、装置に付属のソフトウェアをインストールするか、装置の製造元の Web サイトにアクセスして、適切なソフトウェアをダウンロードしてからインストールしてください。

USB 装置とバッテリーの電力について

個別の電源アダプタのない USB 装置（ジョイスティックやキーボードなど）でも、MacBook の USB ポートから電力を供給することによって利用できます。ただし、このような方式の USB 装置を利用すると、MacBook のバッテリー電力が早く消費されてしまいます。装置を長時間接続したままにする場合は、MacBook を電源アダプタに接続することをお勧めします。

複数の USB 装置を同時に使用する

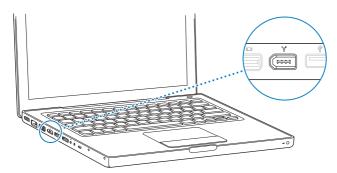
USB ハブを購入すれば、お使いのコンピュータに複数の USB 装置を接続できます。USB ハブをコンピュータの空いている USB ポートに接続すれば、追加の USB ポート（通常は、4 基または 7 基です）を利用できるようになります。ハイスピードハブは、USB 1.1 互換の装置だけでなく、ハイスピード USB 2.0 装置にも対応できます。USB 1.1 ハブでは、ハイスピード USB 装置を最大データ速度で使用することはできません。ほとんどの USB ハブは、電源アダプタを独自に備えており、コンセントに接続する必要があります。

参考：USB 装置とハブをデイジーチェーン方式で接続して使う場合、USB 2.0 ハイスピードのハブと USB 1.1 フルスピードまたはロースピードのハブを組み合わせて接続すると、一部の USB 装置が動作しないことがあります。たとえば、外部 USB ハードディスクがデスクトップに表示されないことなどがあります。この問題を避けるには、異なる速度の USB 装置を一緒に接続しないでください。コンピュータにハイスピード対応のハブを直接接続したら、そのハブにはハイスピード対応の装置を接続します。コンピュータにフルスピードまたはロースピードのハブを直接接続したら、そのハブには同じ速度の装置を接続します。

USB についての詳しい情報を入手する

USB について詳しく知りたいときは、「Mac ヘルプ」を利用します。メニューバーで「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「USB」で検索してください。アップルの USB の Web サイト（www.apple.com/jp/usb）でも情報を参照できます。お使いのコンピュータで利用できる USB 装置について知りたいときは、「Macintosh 製品ガイド」を参照してください：
www.apple.com/jp/guide

FireWire で接続する

お使いのコンピュータには FireWire 400（）ポートが 1 基装備されています。FireWire を使うと、コンピュータを再起動しなくても、高精細度ビデオ（HDV）やデジタルビデオ（DV）カメラおよびハードディスクなど、高速なデータ転送をする外部装置を簡単に接続したり、取り外したりすることができます。

標準的な 6 ピンの FireWire 装置は、FireWire 400（）ポートに直接接続できます。ポートは接続されている装置に電力を供給するので、その装置用にほかの電源コードは必要ありません。

FireWire で利用できる機能をいくつか紹介します：

- HDV や DV カメラを接続し、「iMovie HD」、「Final Cut Express」、「Final Cut Studio」（別売）などのビデオ編集用ソフトウェアを使って、高品質のビデオをコンピュータに直接取り込み、転送および編集することができます。
- 外部 FireWire ハード・ディスク・ドライブを接続して、データのバックアップやファイルの転送に使用できます。
- 外部 FireWire ハードディスクから起動できます。外部 FireWire ハード・ディスク・ドライブ（Mac OS X v10.4.6 以降がインストールされているもの）を接続してから、「システム環境設定」の「起動ディスク」パネルを開いて、FireWire ハードディスクのアイコンをクリックします。コンピュータを再起動します。

- FireWire ターゲット・ディスク・モードを使って、MacBook と FireWire に対応した別のコンピュータとの間でファイルを転送できます。詳しくは、62 ページの「FireWire を使用して MacBook を別のコンピュータに接続する」を参照してください。

FireWire 装置を使用する

コンピュータに FireWire 装置を接続するときは、装置をコンピュータに接続して、装置に付属のソフトウェアをインストールします。コンピュータに新しい装置を接続すると、自動的に認識されます。

参考：FireWire 装置を接続しても MacBook が適切なソフトウェアを検出できない場合は、装置に付属のソフトウェアをインストールするか、装置の製造元の Web サイトにアクセスして、適切なソフトウェアをダウンロードしてからインストールしてください。

FireWire 装置とバッテリーの電力について

個別の電源アダプタのない FireWire 装置（一部の外部ハード・ディスク・ドライブなど）でも、MacBook の FireWire ポートから電力を供給することによって利用できます。ただし、このような FireWire 装置を利用すると、MacBook のバッテリー電力が早く消費されてしまいます。装置を長時間接続したままにする場合は、MacBook を電源アダプタに接続することをお勧めします。

参考：FireWire（ ）ポートは、FireWire 装置に（最大 7 ワットの）電力を供給できる設計になっています。装置を 2 台以上接続するときには、それらの装置を相互に接続して、コンピュータの FireWire ポートに一連の装置を接続することもできます。この場合、コンピュータから電力が供給されるのはそのうちの 1 台の装置のみです。それ以外の接続中の装置には、それぞれ専用の電源アダプタから電力を供給するようにしてください。ポートから供給される電力を利用する FireWire 装置を 2 台以上接続すると、問題が発生する場合があります。問題が発生した場合は、コンピュータをシステム終了して、FireWire装置を取り外し、コンピュータを再起動してください。

FireWire を使用して MacBook を別のコンピュータに接続する

MacBook と FireWire に対応したほかのコンピュータとの間でファイルを転送する場合や、コンピュータの起動に関する問題が発生している場合は、FireWire ターゲット・ディスク・モードという機能を使ってほかのコンピュータに接続することができます。MacBook を FireWire ターゲット・ディスク・モードで起動すると、ほかのコンピュータは、MacBook が外部ハードディスクであるかのように MacBook にアクセスできます。

参考：FireWire ターゲット・ディスク・モードを使用する場合は、MacBook を電源アダプタに接続することをお勧めします。

MacBook を FireWire ターゲット・ディスク・モードで別のコンピュータに接続するには：

1 MacBook がシステム終了していることを確認します。

2 FireWire ケーブルを使って、FireWire を搭載した別のコンピュータに MacBook を接続します。

3 MacBook を起動し、すぐに T キーを押したままにします。

MacBook のディスプレイには、FireWire ロゴが表示されます。もう 1 台のコンピュータのディスプレイには、MacBook の内蔵ハードディスクのアイコンが表示されます。これで、コンピュータ間でファイルをドラッグおよびドロップすることができます。

4 ファイルの転送が終わったら、MacBook のハードディスクのアイコンを「ゴミ箱」（「取り出し」アイコン）にドラッグします。

5 MacBookのパワー(⏻) ボタンを押してシステム終了してから、FireWireケーブルを取り外します。

FireWire についての詳しい情報を入手する

FireWire についての詳細情報は「Mac ヘルプ」で参照できます。「Finder」のメニューバーで「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「FireWire」で検索してください。アップルの FireWire の Web サイトでも情報を参照できます：www.apple.com/jp/firewire

AirMac がワイヤレスインターネット接続を提供するしくみ

AirMac Extreme テクノロジーにより、電話回線、DSL モデム、ケーブルモデム、またはインターネットアクセスが可能な LAN（ローカル・エリア・ネットワーク）に接続された、AirMac Express ベースステーション、AirMac Extreme ベースステーション、802.11b または 802.11g 準拠の製品と、MacBook の間でワイヤレス接続が可能になります。

AirMac Extreme についての詳しい情報を入手する

AirMac Extreme ベースステーションまたは AirMac Express を購入するときは、オンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）またはお近くのアップル製品取扱販売店を利用してください。

AirMac Extreme および AirMac Express について詳しくは、「AirMac ヘルプ」を参照してください。「ヘルプ」>「Mac ヘルプ」と選択し、次に「ライブラリ」>「AirMac ヘルプ」と選択します。アップルの AirMac の Web サイトでも情報を参照できます：
www.apple.com/jp/airmacexpress および www.apple.com/jp/airmacextreme

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用する

お使いの MacBook には、Bluetooth ワイヤレステクノロジーが内蔵されています。Bluetooth を使用すると、ポータブルコンピュータ、PDA（携帯情報端末）、携帯電話、カメラ付き携帯電話、プリンタ、デジタルカメラ、およびワイヤレス入力装置（Apple Wireless Keyboard や Apple Wireless Mouse など。これらはオンラインの Apple Store から購入できます。www.apple.com/japanstore にアクセスしてください）とデスクトップとの間で短距離のワイヤレス接続ができます。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを利用すると、これまでのように多くのケーブルで装置を接続する必要がなくなります。Bluetooth に対応した装置は、最大 10 メートル（33 フィート）離れた距離でワイヤレス接続することができます。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーによって、次のような操作が可能です：

- MacBook を使って、互換性のある Bluetooth 対応の携帯電話と通信する。電話がモデムとして動作して最大 56 Kbps（キロビット／秒）以上の速度でワイヤレス・サービス・プロバイダに接続できるため、携帯電話を使ってインターネットにアクセスすることができます。
- Bluetooth 対応のハンドヘルド PDA と同期する。「iSync」を使用すると、ケーブルを使わずに HotSync 操作を実行したり、名刺やカレンダーのイベントなどを同僚の PDA に直接送信したりできます。
- Bluetooth 対応のコンピュータおよび装置間でファイルを交換する。Mac と PC 間でも可能です。
- Bluetooth ワイヤレスプリンタ、キーボード、マウス、またはヘッドセットを使用する。

Bluetooth デバイスを設定する

MacBook で Bluetooth デバイスを使用する前に、コンピュータと通信できるようにデバイスを設定する必要があります。デバイスを設定すると、デバイスはお使いのコンピュータに登録され、「Bluetooth」環境設定の「デバイス」パネルにそのデバイスが表示されます。コンピュータへのデバイスの登録が必要なのは一度だけで、登録を解除するまでそのデバイスは登録された状態のままになります。

Bluetooth デバイスを設定するには：

1 Bluetooth（◊）ステータスメニューから「Bluetooth デバイスを設定」を選択します。

2 設定するデバイスの種類に応じて画面に表示される指示に従います。

Bluetooth（◊）ステータスメニューがメニューバーにない場合は、「システム環境設定」を開き、「Bluetooth」をクリックします。「設定」をクリックし、「Bluetooth の状況をメニューバーに表示」を選択します。

デバイスの登録を削除するには：

1 「システム環境設定」を開き、「Bluetooth」をクリックします。

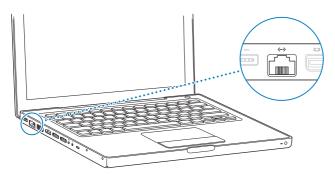
2 「デバイス」をクリックし、リストでデバイスを選択します。

3 「削除」をクリックします。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーについての詳しい情報を入手する

「Bluetooth ファイル交換」アプリケーション（「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダにあります）を起動し、「ヘルプ」＞「Bluetooth ヘルプ」と選択すると、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの使いかたに関する詳しい情報を参照できます。アップルの Bluetooth の Web サイトでも情報を参照できます：www.apple.com/jp/bluetooth

Ethernet で接続する

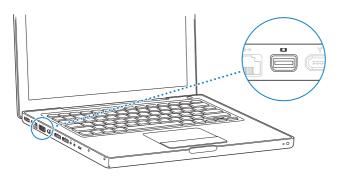
お使いのコンピュータには、ギガビット Ethernet（<···>）ネットワーク機能が搭載されています。これを使用して、ネットワーク、DSL モデム、またはケーブルモデムに接続することができます。

ネットワークに接続すると、ほかのコンピュータにアクセスしたり、ネットワークに接続されているプリンタやモデムを利用したり、メールを送受信したり、インターネットに接続したりすることができます。Ethernet を利用すれば、2 台のコンピュータでファイルを共有したり、小規模のネットワークを構築したりできます。MacBook に装備されている Ethernet ポートでは、Ethernet を介して接続されているほかの装置を自動的に検出します。Ethernet を介してほかの装置に接続するときに、Ethernet クロスケーブルは必要ありません。

Ethernet の使用についての詳しい情報を入手する

「Mac ヘルプ」には、Ethernet ネットワークの設定方法や Ethernet を使ったファイルの転送方法などの詳しい情報が記載されています。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「Ethernet」か「ネットワーク」を検索してください。

お使いの MacBook で使用できるネットワーク製品について知りたいときは、「Macintosh 製品ガイド」を参照してください：www.apple.com/jp/guide

外部ビデオ出力機能を使用する

お使いのコンピュータには、DVI ポートまたは VGA ポートに対応したディスプレイやプロジェクタを接続できる外部モニタ（Mini-DVI）ポートが装備されています。MacBook を DVI モニタまたはプロジェクタに接続するには、Apple Mini-DVI to DVI アダプタ（別売）を使用します。MacBook を VGA モニタまたはプロジェクタに接続するには、Apple Mini-DVI to VGA アダプタ（別売）を使用します。

コンポジットおよび S ビデオコネクタ用の Apple Mini-DVI to Video アダプタを使うと、テレビへの画像表示、ビデオ画面の録画、DVD 映像のテレビ表示などができます。各種アダプタは、Apple Store 直営店、オンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）、またはアップル製品取扱販売店で購入できます。

外部モニタやテレビを接続している場合は、内蔵ディスプレイと外部モニタの両方に同じ画像を表示したり（ビデオミラーリングと呼ばれます）、外部モニタで Mac OS のデスクトップのサイズを拡張したり（デュアルディスプレイモードや拡張デスクトップモードと呼ばれます）することができます。デフォルトでは、MacBook はデュアルディスプレイモードで起動します。デュアルディスプレイモードとビデオミラーリングモードを切り替えるには、F7（⧉）キーを押します。

サウンドをプロジェクタやテレビなどの外部ディスプレイから出力する場合は、オーディオケーブル（付属していません）をコンピュータのヘッドフォン（🎧）ポートから装置に接続する必要があります。

参考：ほとんどのテレビでは表示に制限があるため、テレビ画面に表示される画像の質は内蔵ディスプレイや外部モニタよりも低くなります。

外部ディスプレイまたはプロジェクタを接続する

DVI または VGA コネクタを使って外部ディスプレイやプロジェクタをコンピュータに接続するには：

1. 外部ディスプレイまたはプロジェクタの電源を入れます。
2. 外部ディスプレイまたはプロジェクタにディスプレイケーブルが接続されていることを確認します。
3. 適切なアダプタ（Apple Mini-DVI to DVI アダプタまたは Apple Mini-DVI to VGA アダプタ）を使って、MacBook にディスプレイケーブルを接続します。MacBook によって外部ディスプレイが自動的に検出されます。
4. 外部ディスプレイの解像度を調節するには、「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルか、メニューバーにあるディスプレイのアイコンを使用します。

   参考：MacBook は、外部ディスプレイの解像度として、Apple DVI ディスプレイでは 1920 x 1200 まで、VGA ディスプレイでは 1600 x 1200 まで対応しています。

ディスプレイを閉じたまま MacBook を使用する

MacBook に外部モニタ、キーボード、およびマウスを接続している場合は、ディスプレイを閉じたままコンピュータを使用できます。

重要：ディスプレイを閉じた状態で MacBook を使うには、電力を供給しているコンセントに MacBook が接続されている必要があります。

外部モニタを接続したコンピュータを、ディスプレイを閉じた状態で使うには：

1. USB キーボードとマウスを MacBook に接続します。
2. 電源アダプタを MacBook とコンセントに接続します。電源アダプタのランプが点灯していることを確認します。
3. MacBook のディスプレイを閉じて、スリープ状態にします。
4. 前のセクションの手順に従って、MacBook を外部ディスプレイに接続します。
5. 数秒待ってから、外部キーボードの任意のキーを押し、MacBook をスリープ解除します。

テレビ、ビデオデッキ、その他の映像装置を接続する

コンポジットまたは S ビデオ接続が必要なテレビやビデオ装置を接続するには：

1. Apple Mini-DVI to Video アダプタ（別売）を、MacBook の Mini-DVI ポートに接続します。
2. 装置をアダプタに接続します。
3. MacBook から装置に音声を出力するときは、一端がステレオミニプラグになっており、もう一端が 2 本の RCA ピンプラグに分かれている音声用ケーブル（コンピュータには付属していません）を接続します。ステレオミニプラグの側を MacBook のヘッドフォン（🎧）ポートに、2 本の RCA ピンプラグの側を出力先の装置に接続してください。
4. 外部装置の電源を入れます。

5 テレビその他の外部装置を検出するには、コマンド（⌘）キーを押したまま F2 キーを押します。「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルを開いて、「ディスプレイを検出」ボタンをクリックして検出することもできます。

6 装置での映像の表示方法を調節するときは、「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルを使用します。

外部モニタまたはテレビの使用についての詳しい情報を入手する

外部モニタの使用方法および設定方法については、「Mac ヘルプ」を参照してください。メニューバーから「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「外部モニタ」で検索してください。

スピーカーやその他のオーディオ装置を接続する

お使いの MacBook には、3 つの内蔵スピーカーと、内蔵マイクロフォン、音声ライン入力／光デジタル音声入力ポート、ヘッドフォン／光デジタル音声出力（🎧）ポートが 1 つずつ搭載されています。

ヘッドフォン（🎧）ポートには、外部スピーカー、ヘッドフォン、およびその他の音声出力装置を接続できます。ヘッドフォンポートは、S/PDIF ステレオの 3.5mm ミニジャックでもあります。装置が接続されているときは、内蔵のスピーカーから音は出ません。コンピュータのスピーカーから音を出すには、ヘッドフォンやスピーカーをすべて取り外してください。

内蔵マイクロフォン（内蔵 iSight カメラの隣にあります）を使用して、ハードディスクに音声を録音できます。外部マクロフォンやその他のオーディオ装置を、音声ライン入力ポートに接続することもできます。音声ライン入力ポートは S/PDIF ステレオの 3.5mm のミニジャックでもあります。接続された装置に電力は供給されないので、電源内蔵タイプの機器を使用する必要があります。Toslink ジャック - ミニプラグアダプタを使用すれば、デジタル・オーディオ・テープ（DAT）デッキやデジタル楽器を Toslink ケーブルで接続して、独自の音楽を入力およびミックスできます。

録音が可能なアプリケーション（「iMovie HD」など）では、「システム環境設定」の「サウンド」パネルで使用する音声入力装置（USB で接続されたマイクを含む）を選択できます。

キーボードの音量調節キーを押して、出力音量を簡単に調節できます。「システム環境設定」の「サウンド」パネルでは、入力音量と出力音量の両方を調節できます。

コンピュータでのサウンドの使用やトラブルシューティングについて詳しくは、「ヘルプ」>「Mac ヘルプ」と選択し、「サウンド」で検索してください。

光学式ドライブを使用する

お使いの MacBook には、光学式ドライブ（コンボドライブまたは SuperDrive のいずれか）が搭載されています。

光学式ドライブを使用すると、次の作業ができます：
- CD や DVD からソフトウェアをインストールしたり、実行したりする。
- CD から音楽およびマルチメディアファイルを再生する。
- 音楽、書類、その他のデジタル形式のファイルを CD-R または CD-RW ディスクに書き込む。
- DVD ムービーを再生したり、ほとんどの DVD ディスクを読み取ったりする。

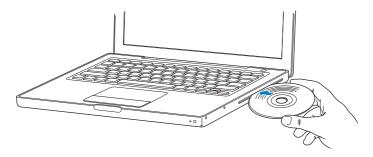
SuperDrive が搭載されている場合は、未使用の DVD±R および DVD±RW ディスクに情報を書き込むこともできます。

重要：お使いの MacBook の光学式ドライブは、標準サイズである 12 cm の円形ディスクを扱えるように設計されています。不規則な形のディスクや 12 cm より小さいサイズのディスクには対応していません。そのようなディスクを挿入すると、ドライブから取り出すときにひっかかる可能性があります。

CD または DVD ディスクをセットする

CD または DVD ディスクからソフトウェアをインストールしたり使用したりするには：

1 コンピュータの動作中に、ディスクをドライブスロットに挿入し（ラベル面が上を向くようにします）、所定の場所にしっかり固定します。

ドライブに正しくセットするために、ディスクをほぼ最後まで押し込むことが必要になる場合もあります。これは正常な動作です。

2 ディスクのアイコンがデスクトップに表示されたら、そのディスクを使用できます。

ディスクを取り出す

ディスクを取り出すには、次のいずれかの操作を行います：

- ディスクのアイコンを「ゴミ箱」（「取り出し」アイコン）にドラッグします。
- キーボードのメディアイジェクト（⏏）キーを、ディスクが取り出されるまで押し続けます。

ディスクを抜き取るか再セットするときは、ディスクが完全に取り出されてからにしてください。

ディスクを取り出せない場合は、ディスクを使用している可能性があるアプリケーションをすべて終了し、再度試してください。それでも取り出せない場合は、トラックパッドのボタンを押したままコンピュータを再起動します。

DVD を再生する

MacBook で DVD ビデオを再生するには、DVD ディスクをセットします。「DVD プレーヤー」が自動的に開きます。「DVD プレーヤー」を使って、DVD の開始、停止、および表示を簡単に制御できます。

テレビ画面で DVD ビデオを鑑賞するために MacBook をテレビに接続する場合は、「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルで、「720 x 480 NTSC」（日本や米国の場合）または「720 x 576 PAL」（ヨーロッパなどの場合）を選びます。

MacBook とステレオシステムは簡単に接続できます。一端がステレオミニプラグ、もう一端が 2 本の RCA ピンプラグに分かれている音声用ケーブル（付属していません）を使って、MacBook のヘッドフォン（🎧）ポートとステレオシステムのオーディオ入力端子をつなぎます。

CD-R および CD-RW ディスクに記録する

お使いの MacBook では、CD-R および CD-RW ディスクにデータを記録できます。SuperDrive が搭載されている場合は、未使用の記録可能な DVD±R および DVD±RW ディスクにオリジナルのデジタルムービーを書き込むこともできます。ファイルのバックアップなどのデジタルデータを記録可能な DVD ディスクに記録することもできます。

CD-R、CD-RW、DVD±R、または DVD±RW ディスクにデータを記録するには：

1 未使用の記録可能なCDディスクまたはDVDディスク（SuperDriveのみ）をドライブに挿入します。
2 表示されたダイアログにディスクの名前を入力し、使用するフォーマットを選択します。
3 デスクトップに表示されたディスクのアイコンをダブルクリックしてから、ファイルとフォルダをそこにドラッグします。
4 「Finder」のサイドバーでディスク名の横にある「ディスクを作成」アイコンをクリックします。

また、iTunes ライブラリから CD または DVD ディスクに、音楽を直接録音することもできます。

iTunes ライブラリから音楽を録音するには：

1 「Dock」で「iTunes」アイコンをクリックします。
2 記録したいプレイリストまたは曲を選択します。
3 未使用の CD ディスクまたは DVD ディスク（SuperDrive のみ）を挿入します。
4 「iTunes」ウインドウの上部にある「CD を作成」をクリックします。

重要：CD の作成中にバッテリーが完全に消耗してしまうと、ディスクの作成が失敗することがあります。その場合、CD ディスクは再使用できなくなります。これを防ぐため、CD を作成するときは必ず電源アダプタを使用してください。

SuperDrive が搭載されている場合は、独自のデジタルムービーを未使用の記録可能な DVD ディスクに記録することができます。また、その他の種類のデジタルデータも記録できます。たとえば、記録可能な DVD ディスクにファイルをバックアップすることができます。「iDVD」などのアプリケーションを使用すれば、独自のデジタルメディアプロジェクトを作成して、未使用の記録可能な DVD ディスクに記録し、ほとんどの標準的な DVD プレーヤーで再生できます。

未使用の DVD±R または DVD±RW ディスクに iDVD プロジェクトを記録するには：

1 「iDVD」を開き、iDVD プロジェクトを開きます。
2 「作成」ボタンをクリックします。
3 画面の指示に従って、未使用の記録可能な DVD ディスクをドライブに挿入します。
4 「作成」ボタンをもう一度クリックします。

詳しくは、「iDVD」を起動し、「ヘルプ」＞「iDVD ヘルプ」と選択してください。

重要：DVD の作成中にバッテリーが完全に消耗してしまうと、ディスクの作成が失敗することがあります。その場合、DVD ディスクは再使用できなくなります。これを防ぐため、DVD を作成するときは必ず電源アダプタを使用してください。

詳しい情報を入手する

「DVD プレーヤー」および「iTunes」については、次の情報を参照してください：

- 「DVD プレーヤー」の使いかたについては、「DVD プレーヤー」で「ヘルプ」＞「DVD プレーヤーヘルプ」と選択してください。
- 「iTunes」を使って CD または DVD ディスクに音楽ファイルを記録する方法については、「iTunes」で「ヘルプ」＞「iTunes & Music Store ヘルプ」と選択してください。

緊急モーションセンサーについて

お使いの MacBook には、コンピュータが落下したり震えたりした場合にハードディスクを障害から保護する技術として、緊急モーションセンサーテクノロジーが搭載されています。

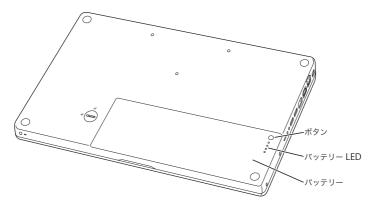
MacBook を通常に操作しているときには、緊急モーションセンサー保護機能がハードディスクの動作に影響を与えることはありません。ただし、MacBook でデータの書き込みや読み出しが集中的に行われているとき（ビデオやオーディオの再生中や記録中など）に非常に強い振動が一時的に発生したときには、緊急モーションセンサーテクノロジーが作動することがあります。フレームやサウンドが途切れる場合は、振動したり突然動いたりしない安定した環境に MacBook を置くようにしてください。

バッテリーを使用する

外部電源アダプタを接続していない場合は、バッテリーから電源が供給されます。使用するアプリケーションと MacBook に接続されている外部装置によっては、MacBook を使用できる時間の長さが異なることがあります。AirMac Extreme や Bluetooth ワイヤレステクノロジーなどの機能をオフにすると、バッテリーの電力を節約するのに役立ちます。バッテリーの使いかたについて詳しくは、79 ページの「バッテリーを長持ちさせるためのヒント」を参照してください。

バッテリー本体に付いているバッテリー・レベル・インジケータ・ランプで、どのくらいの電力がバッテリーに残っているかを知ることができます。ランプの隣にあるボタンを押したときに点灯するランプの数が、バッテリーに残っている電力を示します。バッテリーを MacBook に取り付けた状態でも、MacBook から取り外した状態でも、バッテリーの電力を確認できます。

作業中にバッテリーの残りが少なくなった場合は、電源アダプタを接続して、バッテリーを充電してください。コンピュータを電源アダプタに接続していないときに、残量が少ないバッテリーを充電したバッテリーと交換する場合は、コンピュータをシステム終了してください。

重要：ランプが 1 つだけ点灯している場合、バッテリーの電力が残り少なくなっています。ランプがすべて消えている場合、バッテリーは完全に消耗しており、電源アダプタが接続されない限りコンピュータは起動しません。電源アダプタを接続してバッテリーを充電するか、消耗したバッテリーを完全に充電されたバッテリーと取り換えてください（84 ページの「バッテリーを取り外す」を参照）。

「Finder」のメニューバーにあるバッテリーアイコンが充電の割合を示すように設定している場合、電源アダプタが接続されているとバッテリーの充電率が 100 パーセントにならないことがあります。これは正常な動作です。バッテリーの充電レベルが 95 〜 100 パーセントのときに、充電のオンとオフが絶えず切り替わることがないようにすると、バッテリーの寿命が延びます。やがてバッテリーレベルが 95 パーセントを下回ると、100 パーセントまで充電されます。

バッテリーを取り外す／取り付ける

バッテリーの取り外し手順および取り付け手順については、84 ページの「バッテリーを取り外す」および 90 ページの「バッテリーを取り付ける」を参照してください。

参考：バッテリーを廃棄する際は、お住まいの地域の条令および廃棄基準に従ってください。詳しくは、136 ページの「廃棄とリサイクルに関する情報」を参照してください。

バッテリーを充電する

コンピュータと電源アダプタが接続されていると、バッテリーが充電されます（コンピュータの電源が入っていないときやスリープ状態のときでも充電されます）。ただし、コンピュータの電源が切れているときや、コンピュータがスリープ状態になっているときの方が充電にかかる時間は短くなります。コンピュータの電源が入っているときは、メニューバーの「バッテリー」のステータスアイコンを使って、バッテリーの充電レベルを監視できます。

表示されるバッテリーの充電レベルは、現在使用しているアプリケーション、周辺機器、およびシステム設定（ディスプレイの輝度、「省エネルギー」設定など）での、バッテリーの電力残量を示します。バッテリーの電力を浪費しないためには、使用していないアプリケーションを閉じ、使用していない周辺機器を取り外し、「省エネルギー」設定を調整します（次のセクションを参照）。

バッテリーを長持ちさせるためのヒント

お求めの MacBook に付属のバッテリーの持続時間は、コンピュータと共に現在使用しているアプリケーションや周辺機器および節電機能の設定によって異なります。

バッテリーの電力を節約するには、次の操作を実行してください：

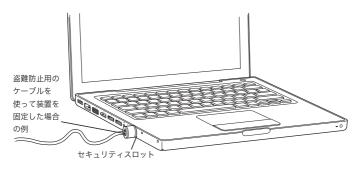
- バスパワー型 USB 装置や FireWire 装置を使用していない場合はコンピュータから外します。
- 開いているアプリケーションのうち、使用していないものを終了します。
- AirMac や Bluetooth を使用していない場合は切にします。（メニューバーの AirMac または Bluetooth のステータスアイコンを使用します。これらのアイコンがメニューバーに表示されていない場合は、「システム環境設定」の「ネットワーク」または「Bluetooth」パネルを使って切にすることもできます。）
- 使わない CD ディスクや DVD ディスクを取り出します。
- 画面の輝度を低めに設定します。輝度の調節にはMacBookのキーボードにある輝度調節キーを使います。
- ハードディスクが自動的に停止するまでの時間を短めに設定します。「システム環境設定」の「省エネルギー」パネルで、「可能な場合はハードディスクをスリープさせる」オプションを選択します。
- MacBook が自動的にスリープ状態になるまでの時間を 5 分以内に設定します。

- お使いの MacBook は、バッテリーの電力を使用している場合、処理量が少ないときに処理速度を自動的に低下して電力の使用量を減らすように、あらかじめ設定されています。これは、「システム環境設定」の「省エネルギー」パネルにある「最適化の設定」ポップアップメニューで「標準」オプションが選択されているためです。処理量が多いときには、処理速度は自動的に上昇します。バッテリーの寿命を最大限に延ばすには、「最適化の設定」ポップアップメニューから「バッテリー寿命優先」を選択します。ただし、このオプションを選択するとコンピュータのパフォーマンスが低下する場合があります。常に最大処理速度で動作するように設定するには、「パフォーマンス優先」を選択します。

MacBook 用バッテリーについての詳しい情報を入手する

詳しい情報は「Mac ヘルプ」で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「バッテリー」を検索してください。また、www.apple.com/jp/batteries/notebooks.html には、バッテリーの寿命を延ばす方法についての説明があります。

MacBook のセキュリティを保つ

別売の盗難防止用ケーブルを取り付けると、MacBook を盗難から守ることができます。盗難防止用のケーブルを使うと、コンピュータを机やテーブルなどに固定できます。

セキュリティ用オプションについての詳しい情報を入手する

「Mac ヘルプ」には、MacBook のソフトウェアによるセキュリティ機能（マルチ・ユーザ・パスワードやファイルの暗号化など）についての詳しい情報が記載されています。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「セキュリティ」または「マルチユーザ」で検索してください。

MacBook にメモリを増設する

4

この章では、MacBook の増設メモリを取り付けたり取り外したりする場合、およびバッテリーを交換する場合の情報や手順について説明します。

警告：アップルでは、メモリの取り付けを、アップル正規サービスプロバイダにご依頼になることをお勧めします。アップルの連絡先などは、付属のサービスとサポートに関する資料に記載されています。メモリの取り付けをご自分で行われる場合、装置が故障する危険性があります。ご自分で行った作業が原因で発生した故障に対して、製品保証は適用されません。

お使いのコンピュータには、メモリスロットが 2 つ付いています。コンピュータのバッテリーを取り外すと、メモリスロットにアクセスできます。お使いの MacBook には、最小で 667 MHz の 512 MB（メガバイト）の DDR2（Double Data Rate）SDRAM（Synchronous Dynamic Random Access Memory）モジュールが搭載されています。メモリスロットには、以下の仕様に適合する SDRAM モジュールを搭載することができます：

- DDR2 SO-DIMM（Double Data Rate Small Outline Dual Inline Memory Module）方式
- 1.25 インチ以下
- 256 MB、512 MB、または 1 GB（ギガバイト）

- 200 ピン
- PC2-5300 DDR2 667 MHz タイプの RAM

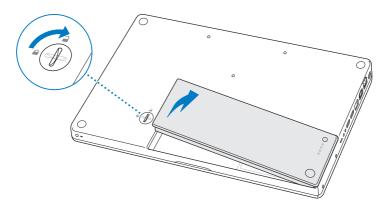
最適なパフォーマンスを得るには、両方のメモリスロットにメモリモジュールを取り付け、それぞれのメモリモジュールは同じ容量にします。お使いの MacBook に取り付けることができるメモリの最大容量は 2 GB です。この場合、両方のメモリスロットにそれぞれ 1 GB の DIMM を取り付けます。

メモリを増設する

メモリの増設には、バッテリーの取り外しや交換が必要になります。メモリの増設とバッテリーの交換の手順を下記に示します。

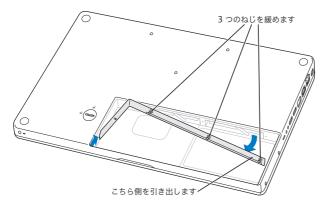
手順 1：バッテリーを取り外す

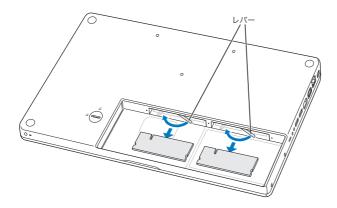
1 お使いの MacBook をシステム終了します。コンピュータの損傷を防ぐために、MacBook に接続されている電源アダプタ、Ethernet ケーブル、およびその他のコードを取り外します。

2 MacBook を裏返し、バッテリーを固定しているラッチを探します。コインを使って、ラッチを時計方向に 4 分の 1 回転させて緩め、バッテリーを慎重に取り外します。

警告：MacBook 内部の部品が熱くなっていることがあります。直前まで MacBook を使っていた場合、電源を切ってから 10 分ほど放置し、内部の部品が冷えてから作業を始めてください。

手順 2：メモリを取り付ける

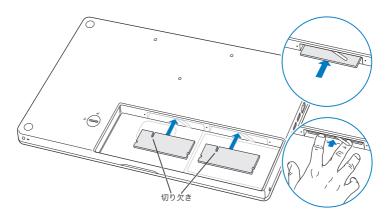
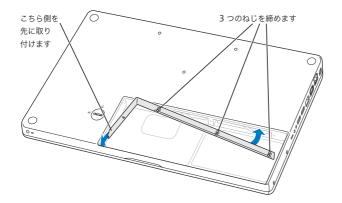
1 L型ブラケットを固定している3本のねじを緩め、長いほうを先に引き出してブラケットを取り外し、横に置いておきます。

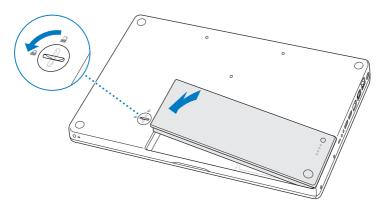
ブラケットを取り外すと、メモリスロットのレバーが出てきます。

2 体から静電気を除去するため、コンピュータ内部の金属部分に触れます。

3　スロットに取り付けられているメモリモジュールを取り外すには、メモリモジュールの端が引き出されるまで、スロットのレバーを左のほうに動かします。メモリモジュールを引き出します。もう一方のメモリモジュールも同様に取り外します。

4 新しいメモリモジュールを、次のようにスロットに挿入します：

a 切り欠きを左側にして、金色の端を先に挿入します。

b 2本の指を使って、メモリモジュールをしっかりと押し込みます。メモリを正しく押し込むと、カチッという音がします。

c レバーが閉じ位置まで戻らない場合は、手動で右端まで動かします。

5 短いほうから先に L 型ブラケットを取り付け、ねじを締めます。

手順 3：バッテリーを取り付ける

1 バッテリーの右側をバッテリー用の仕切りに挿入します。バッテリーのラッチがしっかりと固定されるまで、バッテリーの左側を押し込みます。

2 取り付けられていた電源アダプタやその他のケーブルをすべて接続し直します。

MacBook が新しいメモリを認識するかどうかを確認する

MacBook にメモリを増設した後に、新しく取り付けたメモリをコンピュータが認識するかどうかを確認します。

コンピュータのメモリを確認するには：

1 MacBook を起動します。

2 Mac OS のデスクトップが表示されたら、アップル（）メニュー＞「このMac について」と選択します。

コンピュータに取り付けられているメモリの内訳について詳しくは、「詳しい情報」をクリックして「システムプロファイラ」を開き、「メモリ」をクリックして確認してください。

コンピュータがメモリを認識しないか、またはコンピュータが正常に起動しない場合は、MacBook のシステムを終了して作業手順をもう一度確認し、取り付けたメモリに MacBook との互換性があるかどうか、メモリが正しく取り付けられているかどうかを確かめてください。それでも問題が解決しない場合は、メモリを取り外し、メモリに付属のサポート情報を調べるか、メモリの製造元に問い合わせてください。

トラブルへの対処方法

5

MacBook の使用中に問題が発生した場合は、ここに記載されている解決方法やアドバイスを最初に確認してください。

MacBook の操作で問題が発生した場合は、通常、簡単ですぐに実行できる解決方法が存在します。その問題が起きた状況に注目してください。問題が起きる前にしていたことを書き留めておけば、原因を特定し、必要な答えを見つけるときに役に立ちます。

次の事項を書き留めます：

- 問題が起きたときに使用していたアプリケーション。特定のアプリケーションにだけ問題が起きる場合は、そのアプリケーションがコンピュータにインストールされているバージョンの Mac OS と互換性がない可能性があります。
- 最近インストールしたばかりのソフトウェア。特に、「システムフォルダ」に項目を追加したソフトウェア。
- 取り付けたハードウェア（たとえば、増設したメモリや周辺機器など）。

トラブルへの対処方法についてさらに詳しく知りたいときは、「Mac ヘルプ」、アップルのサービス＆サポートの Web サイト（www.apple.com/jp/support）も参照してください。

コンピュータの使用を妨げるトラブル

コンピュータが反応しないときやポインタが動かないときは

- コマンド（⌘）＋ Option ＋ Esc キーを押して、反応しないアプリケーションを強制的に終了します。表示されたダイアログ内で、終了するアプリケーションを選択して「強制終了」をクリックします。

  次に、開いているアプリケーションすべての作業を保存し、問題を完全に解消するためにコンピュータを再起動します。
- アプリケーションを強制的に終了できなかった場合は、パワー（⏻）ボタンを数秒間押して、システムを終了します。
- 上記の方法でもコンピュータが反応しない場合は、パワー（⏻）ボタンおよびコマンド（⌘）キーと Control キーを同時に押し続けて、コンピュータを再起動します。

問題が頻繁に発生する場合は、画面の上部にあるメニューバーから「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択します。コンピュータが操作不能になるか、反応しないときのヘルプ情報を見るには、「操作不能」という言葉で検索します。

特定のアプリケーションを使用したときだけ問題が起きる場合は、そのアプリケーションの製造元に連絡して、お使いのコンピュータと互換性があるかどうかを確認してください。そのアプリケーションに互換性があることがわかっている場合には、コンピュータのシステムソフトウェアの再インストールが必要になることがあります。

起動中にコンピュータの画面が動かなくなったり、？マークが点滅するとき、または（スリープ中ではないのに）ディスプレイが暗くてスリープランプの点灯が明るくなるときは

- 数秒間待ちます。しばらくたってもコンピュータが起動しない場合は、パワー（⏻）ボタンを約 5 秒間押して、システムを終了します。次に、Option キーを押しながらもう一度パワー（⏻）ボタンを押して、コンピュータを起動します。コンピュータが起動したら、ハードディスクのアイコンをクリックしてから、右向きの矢印をクリックします。コンピュータが起動してから、「システム環境設定」を開いて「起動ディスク」をクリックします。ローカルの Mac OS X の「システム」フォルダを選びます。
- 上記の方法がうまくいかないときは、「ディスクユーティリティ」を使ってディスクを修復してみます。「Mac OS X Install Disc 1」をお使いのコンピュータに挿入します。次に、コンピュータを再起動し、起動時に C キーを押したままにします。「インストーラ」＞「ディスクユーティリティを開く」と選択します。「ディスクユーティリティ」が表示されたら、「First Aid」パネルの指示に従って、ディスクを修復できるかどうかを確認します。

  「ディスクユーティリティ」でも解決しない場合は、コンピュータのシステムソフトウェアの再インストールが必要になる場合があります。詳しくは、100 ページの「コンピュータに付属のソフトウェアを再インストールする」を参照してください。

コンピュータの電源が入らないときや、起動しないときは

- 電源アダプタがコンピュータに接続され、正常に機能している電源コンセントに接続されていることを確かめます。電源アダプタは、お求めのコンピュータに付属しているものを使用してください。電源アダプタから電力が供給されず、電源コードを接続しても電源アダプタのランプが点灯しない場合は、電源コードを電源コンセントから抜き、もう一度差し込んでみてください。

- バッテリーの充電が必要かどうかを確認します。バッテリーの小さなボタンを押してください。バッテリーの充電レベルに応じて 1 個から 4 個のランプが光るはずです。バッテリーレベルのランプが 1 個だけ点滅している場合は、少なくとも 1 個のランプが継続して点灯するまで充電してください。
- 最初の 2 つの方法で問題が解決しないときは、コンピュータから電源アダプタを抜き、バッテリーを取り外してから、パワー（⏻）ボタンを 5 秒以上押したままにして、コンピュータを工場出荷時の設定に戻します。
- 最近、メモリを増設した場合は、適切に取り付けられていることと、お使いのコンピュータと互換性があることを確認します。メモリや装置を取り外して、コンピュータが起動するかどうかを確認してください（86 ページの「メモリを取り付ける」 を参照）。
- 上記の方法がうまくいかないときは、パワー（⏻）ボタンを押して、すぐにコマンド（⌘）キー、Option キー、P キー、R キーを同時に押します。起動音が2回鳴るまで押し続けてください。
- 以上の方法でも MacBook を起動できないときは、MacBook に付属のサービスとサポートに関する資料を参照して、修理についてアップルに問い合わせてください。

画面が突然暗くなったとき、またはシステムが応答しないときは

コンピュータを再起動してみます。

1. 電源アダプタを除いて、MacBook に接続されている装置をすべて取り外します。
2. コマンド（⌘）キーと Control キーを押したままパワー（⏻）ボタンを押して、システムを再起動します。
3. 外部装置を接続したり、作業を再開する前に、バッテリーの電力が 10 パーセント以上になるまで充電してください。

バッテリーの充電量は、メニューバーにあるバッテリーのステータスメニューで確認できます。

省エネルギー機能をバッテリー用に設定している場合、ディスプレイが暗くなることがあります。詳しくは、30 ページの「ディスプレイを調節する」を参照してください。

その他のトラブル

パスワードを忘れてしまったときは

管理者パスワードとすべてのほかのアカウント用パスワードはリセットできます。

1 「Mac OS X Install Disc 1」を挿入します。次に、コンピュータを再起動し、起動時にC キーを押したままにします。

2 メニューバーから「インストーラ」>「パスワードをリセット」と選択します。画面に表示される指示に従います。

アプリケーションに問題があるときは

- アップル以外の製造元のソフトウェアで起きる問題については、そのソフトウェアの製造元に問い合わせてください。ソフトウェア製造元が、Web サイトでソフトウェアのアップデートを提供していることがあります。
- 「システム環境設定」の「ソフトウェア・アップデート」パネルを使って、アップルの最新ソフトウェアを自動的に調べてインストールするように MacBook を設定できます。詳しくは、「ヘルプ」>「Mac ヘルプ」と選択し、「ソフトウェア・アップデート」で検索してください。

参考：Classic（Mac OS 9）アプリケーションは、お使いのコンピュータとは互換性がないので、起動しません。

AirMac Extreme ワイヤレス通信に問題があるときは

- 接続しようとしているコンピュータまたはネットワークが稼動していて、ワイヤレス・アクセス・ポイントを持っていることを確認します。
- メニューバーにある AirMac（）ステータスメニューを確認して、ほかのコンピュータまたはネットワークのアクセスポイントのアンテナの通信圏内にいることを確認してください。信号の強度を示すために、最大 4 本のラインが表示されます。

  電気製品や金属の建造物が近くにあると、ワイヤレス通信が妨げられ、通信範囲が狭くなる可能性があります。コンピュータの場所を変えたり、向きを変えたりすると受信効率が上がることがあります。
- ベースステーションやアクセスポイントに付属の説明に従って、ソフトウェアを正しく設定したことを確認します。
- 詳しくは、「AirMac ヘルプ」を参照してください。「AirMac ヘルプ」は、「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、そのメニューバーから「ライブラリ」＞「AirMac ヘルプ」と選択すると表示できます。また、ワイヤレス装置に付属の説明書も参照してください。

コンピュータのハードディスクにデータが正しく記録されないときは

- ハードディスクに非常に強い振動が与えられるような状況の場合、ディスクで集中的に記録が行われているときに緊急モーションセンサーが作動して、サウンドまたはデータの一部が途切れたり記録されなかったりすることがあります。このような場合は、振動したり突然動いたりしない安定した環境に MacBook を置くようにしてください。
- 振動が原因ではない場合は、「ディスクユーティリティ」（「/アプリケーション/ユーティリティ」フォルダ内）を起動して、ドライブを検証してください。

ディスクの取り出しに問題があるときは

- ディスクを使用している可能性のあるアプリケーションをすべて終了し、再度試してください。それでも取り出せない場合は、トラックパッドのボタンを押したままコンピュータを再起動します。

コンピュータのハードウェアに問題があるときは

- 「Apple Hardware Test」アプリケーションを使用して、メモリやプロセッサなど、お使いのコンピュータのコンポーネントに問題がないかを検証することができます。

「Apple Hardware Test」について詳しくは、102 ページの「「Apple Hardware Test」を使用する」を参照してください。

インターネット接続に問題があるときは

- 電話回線やネットワークケーブルが正しく接続されていることと、正しく動作することを確かめます。
- ダイヤルアップインターネット接続を使用している場合は、モデムケーブルが Apple USB Modem（別売）に接続されており、コンピュータの Ethernet（<···>）ポートに接続されていないことを確かめます。
- 「システム環境設定」の「ネットワーク」パネルを開いて、インターネット・サービス・プロバイダ（ISP）またはネットワーク管理者から提供された情報が入力されていることを確認します。

コンピュータを使用しているときや Mac OS を操作しているときに問題が起きるときは

- 知りたい情報がこのガイドに記載されていない場合は、メニューバーから「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、手順やトラブルへの対処方法を検索してください。
- アップルのサポート情報の Web サイト（www.apple.com/jp/support）では、トラブルへの対処方法やソフトウェアのアップデートに関する最新情報を参照できます。

コンピュータに付属のソフトウェアを再インストールする

Mac OS X とコンピュータに付属のアプリケーションをインストールし直すには、コンピュータに付属のソフトウェア・インストール・ディスクを使用します。

重要：アップルでは、ソフトウェアを復元する前に、ハードディスクのデータをバックアップしておくことをお勧めします。いかなるデータの消失につきましても、アップルは一切の責任を負いません。

Mac OS X とアプリケーションをインストールする

コンピュータに付属の Mac OS X およびアプリケーションをインストールするには：

1 重要なファイルをバックアップします。

「消去してからインストール」オプションはインストール先ディスクを消去するので、重要なファイルは Mac OS X やその他のアプリケーションをインストールする前にバックアップしておいてください。

2 電源アダプタが接続されていることを確認します。

3 コンピュータに付属の「Mac OS X Install Disc 1」を挿入します。

4 「Install Mac OS X and Bundled Software」をダブルクリックします。

5 画面に表示される指示に従って操作します。

6 インストール先のディスクを選択した後、画面に表示される指示に従って操作を続けます。コンピュータが再起動し、次の Mac OS X のインストールディスクを挿入するよう求めるメッセージが表示される場合もあります。

参考：コンピュータ上の Mac OS X を工場出荷時の設定に復元するには、「インストーラ」の「インストール先を選択」パネルで「オプション」ボタンをクリックして、「消去してからインストール」を選びます。

インストール先のディスクを選択した後、Mac OS X の基本インストールを実行する場合は、画面に表示される指示に従います。カスタムアプリケーションをインストールするには、「カスタマイズ」をクリックし、アプリケーションの横にある三角形をクリックして、インストールしたいものを選択します。

アプリケーションをインストールする

お使いのコンピュータに付属のアプリケーションのみをインストールするには、次の手順に従います。コンピュータにすでに Mac OS X がインストールされている必要があります。

1 重要なファイルをバックアップします。

2 電源アダプタが接続されていることを確認します。

3 コンピュータに付属の「Mac OS X Install Disc 1」を挿入します。

4 「Install Bundled Software Only」をダブルクリックします。

5 画面に表示される指示に従って操作します。

6 インストール先のディスクを選択した後、画面に表示される指示に従って操作を続けます。コンピュータが再起動し、次の Mac OS X のインストールディスクを挿入するよう求めるメッセージが表示される場合もあります。

参考：「iCal」、「iChat AV」、「iSync」、「Safari」、および iLife アプリケーションをインストールするには、100 ページの「Mac OS X とアプリケーションをインストールする」の手順に従います。インストールするアプリケーションによっては、「Mac OS X Install Disc 2」をセットする必要がある場合もあります。

「Apple Hardware Test」を使用する

「Apple Hardware Test」を使って、コンピュータのハードウェアに問題があるかどうかを確認することができます。

Apple Hardware Test を使用するには：

1. 電源アダプタ以外のすべての外部装置をコンピュータから取り外します。Ethernet ケーブルが接続されている場合は、そのケーブルを取り外します。
2. コンピュータに付属の「Mac OS X Install Disc 1」を挿入します。
3. コンピュータを再起動し、起動時に Option キーを押したままにします。
4. 「Apple Hardware Test」のメイン画面が表示されたら、画面に表示される指示に従って操作します。
5. 「Apple Hardware Test」によって問題が検出された場合は、エラーコードが表示されます。サポートを要請する前に、エラーコードをメモしてください。「Apple Hardware Test」によってハードウェアの障害が検出されない場合、問題はソフトウェアに関係している可能性があります。

「Apple Hardware Test」について詳しくは、「Mac OS X Install Disc 1」にある「Apple Hardware Test について」を参照してください。

製品のシリアル番号を確認する

次のいずれかの方法で、お使いのコンピュータのシリアル番号を確認できます：

- メニューバーからアップル（）メニュー＞「このMac について」と選択し、「Mac OS X」という文字の下のバージョン番号をクリックします。クリックすると、Mac OS X のバージョン番号、ビルドバージョン、およびシリアル番号の順に表示が入れ替わります。
- 「システムプロファイラ」を開き（「/ アプリケーション / ユーティリティ/」にあります）、「ハードウェア」をクリックします。「この Mac について」ダイアログの「詳しい情報」ボタンをクリックすることで、「システムプロファイラ」を開くこともできます。
- バッテリーを取り外し、MacBook のバッテリーベイにあるシリアル番号を見つけます。バッテリーの取り外しについては、84 ページの「バッテリーを取り外す」を参照してください。

仕様

A 付録

お使いの MacBook に関する詳細情報は、「システムプロファイラ」を使って確認することができます。

内蔵メモリ量、ハードディスク容量、取り付けられている装置、製品のシリアル番号などを確認できます。「システムプロファイラ」の情報にアクセスするには、メニューバーからアップル（）メニュー＞「この Mac について」と選択し、「詳しい情報」をクリックするか、「/ アプリケーション / ユーティリティ /」にある「システムプロファイラ」を開きます。

別のカテゴリの情報の表示／非表示を切り替えるには、ウインドウ内の三角形をクリックします。

動作環境

- 動作時温度：10℃ 〜 35℃（50°F 〜 95°F）
- 高度：最大 3048 m（10,000 フィート）
- 相対湿度：0%〜 90%（結露しないこと）

電源アダプタ

- 入力：AC 100 〜 240 V（ボルト）、50/60 Hz（ヘルツ）
- 出力：DC 16.5 V @ 3.65 A（アンペア）

バッテリー

- 出力：DC 10.8 V
- 容量：55 Wh

詳しい情報は、アップルの Web サイト（www.apple.com/jp/macbook および www.apple.com/jp/support）で参照できます。

安全性、使用、保守についての情報

B

付録

MacBook の安全性と保守に関する以下の重要な情報をお読みください。

アップル製品は、情報技術機器における最新の安全基準の査定のもとにデザインされています。ただし、安全にご使用いただくために、製品およびそのマニュアルに記載されている安全性に関する重要な情報には、必ず従ってください。

一般的な安全上の注意について

お使いの MacBook で作業する前に、製品に付属およびこのマニュアルに記載されている解説をすべてお読みになり、指示に従ってください。コンピュータをお使いになる方が、いつでもこれらの注意事項を参照できるようにしておいてください。

- お使いの MacBook は、平らな安定した作業場所に設置してください。
- 飲み物、洗面台、浴槽、シャワーなど、水のある場所にはコンピュータを近付けないでください。
- 雨、雪、霧などの天候の下や、湿度が極端に高い場所でのコンピュータの使用を避けてください。

- コンピュータをお使いになる方の安全と装置の故障防止のため、常に以下の点にご注意ください。次のようなときは、電源コードを抜き（コードではなく、必ずプラグを持って抜いてください)、バッテリーを取り外してから、すべてのケーブルを取り外してください：
  - メモリを取り付けたいとき
  - 部品を取り外したいとき
  - 電源コードやプラグがすり切れているときや壊れているとき
  - 装置の中に液体が流れ込んだとき
  - 装置が雨や過度の湿気にさらされたとき
  - 装置を落としたときや、装置の外面が壊れたとき
  - 保守サービスや修理が必要だと思われるとき
  - 装置の外面を清掃したいとき（後述の方法以外では清掃しないでください）
- MacBook の電源アダプタポートには磁石が含まれています。磁気に影響を受ける物や装置を、このポートの 25 mm（1 インチ）以内には近づけないでください。
- MacBook の換気装置やすきまなどに、ものを差し込まないでください。
- MacBook のバッテリーは、誤った取り扱いをすると、出火するおそれがあります。分解したり、100º C（212º F）以上に熱したり、燃やしたりしないでください。バッテリーを交換する場合は、この製品用のアップル認定バッテリーだけにしてください。それ以外のバッテリーを使用すると、出火または爆発するおそれがあります。使用済みのバッテリーを廃棄する際は、お住まいの地域の廃棄基準に従ってください。

MacBook と電源アダプタを接続する

アダプタを電源コンセントに接続する前に、電源プラグや電源コードが電源アダプタにしっかりと差し込まれていることを確認します。アダプタは電源コードを使用して、接地コンセントに接続して接地するのが最適です。

電源アダプタは、お使いの MacBook に付属しているものだけを使用してください。ほかの電気製品（MacBook Pro やその他のポータブルコンピュータも含む）用の電源アダプタは、外見が似ていても使用できません。不適切な電源アダプタを使用すると、コンピュータのパフォーマンスに影響したり、コンピュータが故障したりする可能性があります。

電源アダプタは、MacBook を普通に使っていても熱くなることがあります。アダプタの周りには常に十分な換気空間を設けるようにし、操作中または使用直後に扱う場合には、注意して取り扱ってください。可能であれば、熱を逃がすために、平らで固い場所に電源アダプタを置いてください。

コネクタを無理にポートに押し込まないでください。ポートに障害物がないか確認してください。コネクタとポートを簡単に接続できない場合は、コネクタとポートが合っていない可能性があります。コネクタとポートが合っていることと、コネクタとポートの向きや位置が正しいことを確認してください。

電源アダプタポートに破片などが入っている場合は、電源アダプタを正しく接続することができません。破片を綿棒で慎重に取り除いてください。

MacBook を使用する

MacBook の使用時やバッテリーの充電時には本体の底面がやや熱を持ちますが、これは異常ではありません。長時間使用する場合は、平らな安定した場所に MacBook を置いてください。

ひざや体の表面に、MacBook の底面が長時間触れたままの状態にしないでください。長時間体に触れた状態にすると、不快に感じたり、場合によってはやけどを負う可能性もあります。

MacBook の底面には、コンピュータ内部の熱を外部の冷たい空気と入れ替える機能があります。換気によって本体内部の温度を通常の動作時温度の範囲内に保つため、本体の底面は少し高くなっています。また、本体ケース背面のスロットから温かい空気が排出されます。

警告：MacBook の使用時にはクッションその他の柔らかい素材の上には置かないでください。そのような場所に置くと、素材によって空気が流れる出口（特に背面の出口）が塞がれてしまい、コンピュータが過熱する原因となります。リッド・クローズド・モードで操作するときは、絶対にキーボードの上にものを置かないようにしてください。キーボードの上にものがあると、コンピュータの電源のオン／オフが繰り返され、バッテリーが加熱して漏電する可能性があります。内部や外部の部品をすべて所定の位置に取り付けるまでは、絶対にコンピュータの電源を入れないでください。コンピュータを開いているときや、一部の部品が取り外されているときに、コンピュータを動作させると大変危険です。コンピュータが壊れる可能性もあります。

MacBook を持ち運ぶ

MacBook をバッグやブリーフケースに入れて持ち運ぶときには、小物（クリップやコインなど）を一緒に入れないようにしてください。光学式ドライブのスロットなどの本体のすき間から、コンピュータ内部に入ってしまったり、ポート内部でひっかかってしまうおそれがあります。また、磁気に影響を受けるものは電源アダプタポートに近づけないでください。

MacBook を保管する

長期間 MacBook を保管するときは、涼しい場所（できれば 22℃ または 71°F）に保管し、MacBook のバッテリーの寿命を保つために次のいずれかの操作をしてください：

- MacBook を保管する前に、バッテリーの残量を 50 パーセントまで減らします。
- コンピュータを 5 カ月以上保管するときは、バッテリーの残量をおよそ 50 パーセントまで減らし、MacBook からバッテリーを取り外します。長期間保管する場合は、約 6 カ月ごとにバッテリーを 50 パーセントまで再充電してください。

MacBook を清掃する

コンピュータや装置の外面を清掃するときは、以下の注意事項を守ってください：

- MacBook をシステム終了し、電源アダプタをコンセントから抜き、バッテリーを取り外します。
- コンピュータの外面を清掃するときは、柔らかく、けば立たない布に少量の水を付けて使用してください。清掃の際には装置に水などが入り込まないように注意してください。コンピュータに液体を直接吹きかけないでください。
- 外面が傷む可能性があるため、スプレー式の液体クリーナー、溶剤、研磨剤などは使わないでください。

MacBook のディスプレイを清掃する

MacBook の画面は、以下の手順で清掃してください：

- MacBook をシステム終了し、電源アダプタをコンセントから抜き、バッテリーを取り外します。
- 柔らかくけば立たない布や紙を軽く湿らせてから画面を清掃します。画面に液体を直接吹きかけないでください。

聴覚が損なわれないようにする

警告：イヤフォンやヘッドフォンを大きな音で使用すると、聴覚に障害が生じる場合があります。大音量で聞いていると耳が慣れて普通に聞こえるようになりますが、聴覚を損なう危険があります。耳鳴りがしたり声がこもって聴こえたりする場合は、使用を中止し、聴覚の検査を受けてください。音量が大きいほど、聴覚への影響が早く現れます。専門家は、聴覚を保護するために次のことを推奨しています：

- イヤフォンやヘッドフォンを大音量で使用する時間を制限します。
- 周囲の騒音を遮断するために音量を上げるのは避けます。
- 近くの人の話し声が聞こえない場合は音量を下げます。

レーザーに関する情報

警告：お求めの装置に付属する説明書に指定された方法以外による調整あるいは操作は、危険な被曝を引き起こす可能性があります。

レーザーを格納しているキャビネットを分解しないでください。この製品で使用されているレーザービームは視覚に対して有害です。拡大レンズのような光学機器をこの製品と使用すると、視覚に害を与える危険性が高まります。安全のために、この装置の修理・点検はアップル正規サービスプロバイダにのみ依頼してください。

お使いのコンピュータは、光学式ディスクドライブが搭載されているため、クラス 1 レーザー製品です。ユーザが確認できる場所に貼られたクラス 1 のラベルは、ドライブが最低の安全要求事項を満たしていることを示しています。サービス警告ラベルは、ユーザが確認できる場所に貼られています。製品に貼られたラベルは、ここに示すものと多少異なる場合があります。

クラス 1 ラベル

サービス警告ラベル

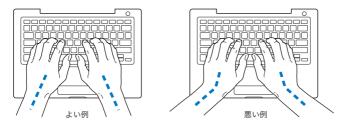
危険性の高い行為に関する警告

このコンピュータシステムは、原子力施設・飛行機の航行や通信システム・航空管制システムなど、コンピュータシステムの障害が生命の危険や身体の障害、あるいは重大な環境破壊につながるようなシステムにおける使用を目的としていません。

人間工学について

ここでは、健康的な環境で作業を行うためのヒントを示します。

キーボードとトラックパッド

キーボードやトラックパッドを使うときは、肩に力を入れすぎないようにしてください。上腕と前腕の角度は、直角よりも少し大きくなるようにします。また、手首と手のひらは、ほぼ一直線になるようにしてください。

入力するときや、トラックパッドを使うときは、力を入れすぎないようにしましょう。手や指をリラックスさせてください。親指を手のひらの下に入れないように注意してください。

よい例

悪い例

頻繁に手の位置を変えると、疲労を防止できます。休みなしで集中して作業すると、手や手首、腕などの不快感が増す可能性があります。手や手首、腕などの痛みや不快感が慢性的になってきたら、専門医に相談しましょう。

イス

イスは、調節機構付きで、快適で安定感のあるものが理想的です。イスの高さは、座ったときに太ももがほぼ水平になるように調節しましょう。このとき、足の裏全体が床に着くようにしてください。イスは、背もたれが腰の部分を支えるように調節しましょう。使っているイスの説明書などを参照して、背もたれを自分の身体に合わせて調節してください。

キーボードを操作するときにひじを直角に保つために、イスの高さの調節が必要になることがあります。イスを高くしたことで、足の裏全体が床に着かなくなったときは、足は台のようなものに載せてもかまいません。机の高さを調節できる場合は、足を台に載せる代わりに、机を低くしてもかまいません。また、机よりもやや低い位置にキーボード専用の台が付いている机を利用する方法もあります。

外付けマウス

外付けマウスを使うときは、マウスをキーボードと同じ高さに置いてください。また、マウスはすぐに手が届く場所に置いてください。

内蔵ディスプレイ

ディスプレイの角度を調節して、窓の明かりや照明などが反射しないようにしてください。抵抗がある場合は、無理にディスプレイを動かさないでください。ディスプレイは、130 度以上は開かないようになっています。

コンピュータをある場所からほかの場所へ動かすと、照明の状態が変わることがあります。そのような場合は、画面の輝度を調節することができます。

詳しい情報を入手する

次の Web サイトを参照してください：www.apple.com/jp/about/ergonomics

環境向上への取り組みについて

Apple Computer, Inc. では、事業活動および製品が環境に与える影響をできる限り小さくするよう取り組んでいます。詳しい情報については、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment/summary.html

インターネットに接続する

コンピュータを使って、World Wide Web をブラウズしたり、友達や家族にメールを送ったり、インターネット上でリアルタイムでチャットしたりできます。インターネットに接続するには、この情報を参考にしてください。

はじめて Mac OS X を起動するときに、「設定アシスタント」を使ってインターネット設定情報を簡単に入力することができます。「設定アシスタント」を使ってインターネットの設定をしない場合、「ネットワーク設定アシスタント」を使ってあとで設定することができます（121 ページの「ネットワーク設定アシスタントを使用する」を参照してください）。「ネットワーク設定アシスタント」を使用しない場合は、この付録を参照して手入力で接続を設定できます。

インターネット接続には、次の 4 つの種類があります：

- 高速DSL モデムまたはケーブルモデム接続：Ethernet ケーブルを使って、ISP から提供された特別なモデムにコンピュータをつなぎます。
- ワイヤレス接続：AirMac Extremeベースステーション、AirMac Express、802.11b または 802.11g アクセスポイントを使って、コンピュータをワイヤレス接続します。
- LAN（Local Area Network）：Ethernet ケーブルを使って、LAN にコンピュータをつなぎます。会社などで一般に使用されている方法です。
- ダイヤルアップ接続：モデムケーブルを使って、電話のモジュラージャックに接続した外部モデムをコンピュータをつなぎます。

インターネットに接続する前に：

1 インターネット・サービス・プロバイダ（ISP）のアカウントを設定します。

2 必要な接続情報をISPまたはネットワーク管理者から入手します。それぞれの接続の種類に必要な情報については、次の「必要な情報を用意する」を参照してください。次のページ以降に情報を直接書き込むことができます。次に、その情報を「設定アシスタント」に入力します。

同じ場所にある別のコンピュータがすでにインターネットに接続されている場合は、その設定を使用できることがあります。

Mac OS X コンピュータで設定情報を見つけるには：

- 「システム環境設定」の「ネットワーク」パネルを開きます。
- 「表示」ポップアップメニューからお使いの接続方法を選択します。
- お使いの設定に関する情報をコピーします。

Windows コンピュータで設定情報を見つけるには：

Windows コンピュータの接続情報は 2 つの場所にあります。

- IP アドレスとサブネットマスクを見つけるには、「ネットワーク接続」コントロールパネルを開きます。
- ユーザアカウント情報を見つけるには、「ユーザー アカウント」コントロールパネルを開きます。

3 Apple USB Modem（別売）などの外部モデムを使用する場合は、MacBook の USB ポートに外部モデムを接続し、モデムケーブル（付属していません）を使用してモデムから電話のモジュラージャックにつなぎます。DSL モデムまたはケーブルモデムを使用する場合は、モデムに付属の指示に従ってモデムをコンピュータに接続します。

4 お使いのコンピュータの電源を入れ、「設定アシスタント」に情報を入力してインターネット接続を設定します。

参考：コンピュータを起動済みで、インターネット接続の設定に「設定アシスタント」を使用しなかった場合は、121 ページの「ネットワーク設定アシスタントを使用する」を参照してください。

必要な情報を用意する

ISP、ネットワーク管理者、またはほかのコンピュータから入手した情報をこれ以降のページに書き込んでから、その情報を「ネットワーク設定アシスタント」に入力することができます。

モデムによるダイヤルアップ接続を設定するには、次の情報を取得します：

- サービスプロバイダ名
- ユーザ名またはアカウント名
- パスワード
- ISP の電話番号
- 代替電話番号
- 外線発信番号

DSL モデム、ケーブルモデム、LAN、または AirMac Extreme ワイヤレス接続を設定するには、いずれかの接続方法を選びます（分からない場合は、システム管理者または ISP に問い合わせてください）：

- 手入力
- DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使ってアドレスを手入力
- DHCP サーバを参照
- BOOTP サーバを参照
- PPP（Point-to-Point Protocol）

どの方法を使用したらよいか分からない場合は、「DHCP サーバを参照」を選択することをお勧めします。「DHCP サーバを参照」を選択すると、必要な情報の大半がネットワークにより自動的に提供されます。

「手入力」または「DHCP を使ってアドレスを手入力」を選ぶ場合は、次の情報を取得します：

- IP アドレス
- サブネットマスク
- ルーターアドレス

参考：「DHCP を使ってアドレスを手入力」を選ぶ場合は、サブネットマスクまたはルーターアドレスは必要ありません。

「DHCP サーバを参照」を選ぶ場合は、次のオプション情報を取得します（必要な場合は、ISP に問い合わせてください）：

- DHCP クライアント ID
- DNS サーバ

「PPPoE」（Point-to-Point Protocol over Ethernet 接続）を選ぶ場合は、次の情報を取得します：

- サービスプロバイダ
- アカウント名
- パスワード
- PPPoE サービス名

次の情報はオプションです。必要な情報かどうか、お使いの ISP またはシステム管理者に問い合わせてください。

- DNS サーバ
- ドメイン名
- プロキシサーバ

情報を入力する

ISP またはネットワーク管理者から正しい設定情報を収集したら、「ネットワーク設定アシスタント」を使用して、接続したり手入力で情報を入力したりできます。

ネットワーク設定アシスタントを使用する

MacBook をはじめて起動したときに「設定アシスタント」を使ってインターネットの設定をしなかった場合、「ネットワーク設定アシスタント」を使って、いつでもインターネット接続の設定や設定の変更ができます。

「ネットワーク設定アシスタント」を使用するには：

1. アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2. 「ネットワーク」をクリックしてから、「アシスタント」をクリックします。
3. 「アシスタント」をクリックして、「ネットワーク設定アシスタント」を開きます。

4 画面に表示される指示に従って操作します。

インターネット接続の設定についての詳しい情報は、「Mac ヘルプ」で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「インターネットに接続する」で検索してください。

情報を手入力する

情報を手入力するには：

1 「システム環境設定」を開き、「ネットワーク」をクリックします。

2 「表示」ポップアップメニューから選択し、設定したい接続のタイプに適したオプションを設定します：

- ケーブルモデム、DSL モデム、または LAN 接続の場合は、以下の設定のいずれかを使用します：
  - 手入力：手入力で設定する場合は、静的 IP アドレスと「ネットワーク」環境設定に入力するその他の情報が ISP またはネットワーク管理者から提供されます。
  - DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用する：DHCP 設定の場合は、DHCP サーバが自動的に情報を入力します。
  - PPPoE（Point-to-Point Protocol over Ethernet）を使用する：DSL モデムを使用していて、インターネットに接続するためのユーザ名とパスワードが必要な場合は、PPPoE を使って接続すべきかどうか、ISP に確認してください。
- ダイヤルアップ外部モデムを使った PPP（Point-to-Point Protocol）接続。アカウント名、パスワード、電話番号、およびその他の情報を入力します。
- AirMac Extreme ワイヤレス接続：AirMac Extreme ネットワークおよびインターネット接続の設定は、「/ アプリケーション / ユーティリティ /」フォルダにある「AirMac 設定アシスタント」を使って行えます。

3 さらに助けが必要な場合は、「アシスタント」をクリックします。

接続のトラブルシューティング

インターネット接続に問題があるときは、このセクション内に記載されている、お使いの接続タイプ用の手順を試してみるか、「ネットワーク診断」を使用することができます。

「ネットワーク診断」を使用するには：

1 アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2 「ネットワーク」をクリックしてから、「アシスタント」をクリックします。
3 「診断」をクリックして、「ネットワーク診断」を開きます。
4 画面に表示される指示に従って操作します。

ネットワーク診断で問題を解決できない場合は、接続しようとしている ISP、ISP に接続するために使用している外部デバイス、またはアクセスを試みているサーバに問題がある可能性があります。以下の手順も試してみてください。

ケーブルモデム、DSL モデム、LAN でのインターネット接続

ケーブルモデム、DSL モデム、LAN（Local Area Network）を使ってインターネットに接続できない場合は、以下の内容を確認してください。

重要：モデムに関連した手順は、LAN をお使いの場合には適用できません。LAN ユーザは、ケーブルモデムや DSL モデムのユーザが使用しないハブ、スイッチ、ルーター、接続ポッドなどを使用する場合があります。LAN をお使いの場合は ISP ではなく、ネットワーク管理者に問い合わせる必要があります。

ケーブルや電源をチェックする

モデムの電源コード、モデムとコンピュータの接続コード、モデムとモジュラージャックの接続コードなどのすべてのモデムケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。Ethernet ハブやルーターへのケーブルと電源を確認します。

モデムの電源を切ってから再投入し、モデムハードウェアをリセットする

DSL モデムやケーブルモデムの電源を数分間切ってから再投入します。ISP の中には、モデムの電源コードを抜くことを勧めるところもあります。モデムにリセットボタンがついている場合は、いったん電源を切って再投入する前か後でリセットボタンを押すことができます。

PPPoE 接続

PPPoE を使って ISP に接続できない場合は、まずケーブルと電源をチェックしてからモデムハードウェアの電源を切って再投入し、リセットします。次に、「システム環境設定」の「ネットワーク」パネルの設定を確認します。

システム環境設定の設定を確認するには：

1 メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2 「ネットワーク」をクリックします。
3 「表示」ポップアップメニューから「ネットワークポート設定」を選択します。
4 「内蔵 Ethernet」を「ポート設定」リストの一番上にドラッグします。
5 「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。
6 「PPPoE」をクリックします。
7 「PPPoE を使って接続」を選択します。
8 「アカウント名」フィールドをチェックして、ISP から提供された正しい情報を入力していることを確認します。
9 パスワードの保存を選択していた場合は、パスワードが正しいことを確認するためにパスワードをもう一度入力します。
10 「TCP/IP」をクリックします。ISP から提供された正しい情報をこのパネルに入力したことを確認してください。
11 「今すぐ適用」をクリックします。

ネットワーク接続

2 台以上のコンピュータでインターネット接続を共有する場合は、ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。ISP が 1 つの IP アドレスのみを提供しているか、各コンピュータに 1 つずつ複数の IP アドレスを提供しているかを、知っておく必要があります。

1 つの IP アドレスのみを使用する場合は、接続を共有できるルーター、すなわちネットワークアドレス変換（NAT）または「IP マスカレーディング」が可能なルーターを用意する必要があります。設定情報については、ルーターに付属のマニュアルを確認するか、ネットワークの設定担当者に確認してください。AirMac Extreme ベースステーションを使って、1 つの IP アドレスを複数のコンピュータで共有することができます。AirMac Extreme ベースステーションの使用方法について詳しくは、オンスクリーンヘルプを確認するか、アップルの AirMac の Web サイト（www.apple.com/jp/airmacextreme）を参照してください。

上記の手順で問題が解決しない場合は、ISP に問い合わせてください。

質問トップ 10

D 付録

分からないことがありますか？ここでは、MacBook をはじめて使うユーザからよく尋ねられる質問トップ 10 を紹介します。

インターネット接続が動作していないようです。どのように設定するのですか？

インターネット接続にはさまざまな種類があります。たとえば、モデム、DSL 接続、ワイヤレス AirMac 接続、Ethernet ネットワークなどを使用して接続できます。お使いの接続の種類、インターネット・サービス・プロバイダ、またはネットワークに関する特定の情報を Mac OS X で指定する必要があります。接続を設定するときは、まずお使いの接続の種類に必要な情報を集めます。必要な情報および接続の種類に合った設定方法については、117 ページの付録 C「インターネットに接続する」を参照してください。また、コンピュータに付属の「設定アシスタント」アプリケーションを使用すると、表示される手順に従ってインターネット接続を設定できます。「システム環境設定」を開き、「ネットワーク」をクリックします。「アシスタント」ボタンをクリックして、「ネットワーク設定アシスタント」を開きます。

プリンタはどのように設定するのですか？使用している MacBook と互換性はありますか？

プリンタに付属の説明書の指示に従って、プリンタを接続し、ソフトウェアをインストールします。次に、「システム環境設定」を開き、「プリントとファクス」アイコンをクリックします。「プリントとファクス」パネルを使って、プリンタにアクセスできるようにお使いの MacBook を設定します。プリンタの設定について詳しくは、「Mac ヘルプ」を参照してください（メニューバーから「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「プリンタ」を検索します)。また、50 ページの「プリンタに接続する」も参照してください。

プリンタが正しく動作しない場合は、プリンタの製造元の Web サイトで、プリントドライバがアップデートされているかどうかを確認してください。最新のプリンタソフトウェアをダウンロードできる場合があります。

プリンタにプリントジョブを送信できるのにプリントが実行されない場合は、「Dock」にあるプリンタのアイコンをクリックして、プリントジョブが停止または保留になっていないか確認してください。（「Dock」にアイコンが表示されない場合は、「/ アプリケーション / ユーティリティ」フォルダにある「プリンタ設定ユーティリティ」を開き、プリンタの名前をダブルクリックします。）プリンタのウインドウに「ジョブを停止」と表示されている場合は、「ジョブを開始」ボタンをクリックします。ジョブ名の横に「保留」と表示されている場合は、ジョブ名を選択してから「再開」をクリックして、プリント処理を再開します。技術的なエラーでプリントジョブによるプリント処理が停止している場合は、ジョブを選択して「削除」をクリックすることによって、問題のあるジョブを削除できます。その後、もう一度ジョブをプリントしてみてください。

Mac OS X のインターフェイスはどのように操作するのですか？

はじめて Mac OS X を使う場合、特定の作業の実行方法が分からないことがよくあります。Mac OS X に関する情報は、「Mac ヘルプ」で調べるのが一番良い方法です。新しいユーザ、Windows コンピュータからスイッチしたユーザ、および Mac OS 9 からアップグレードしたユーザ向けの機能紹介が記載されています。画面の上部にあるメニューバーで「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「Mac ヘルプ」を開きます。新しい Mac OS X ユーザ向けの情報を参照してください。また、基本的な作業の多くは「Finder」で行うので、「Finder」を検索することもお勧めします。

MacBook のバッテリーを長持ちさせるにはどうしたらよいですか？

バッテリーをはじめて使用するときは、必ずバッテリーを調整してください（25 ページの「バッテリーを調整する」を参照）。「省エネルギー」環境設定パネルで、コンピュータがスリープ状態に入るまでの時間またはディスプレイが暗くなるまでの時間を指定することによって、バッテリーの電力を節約できます。「システム環境設定」を開き、「省エネルギー」アイコンをクリックします。自分の使用方法に適した設定を選びます。ハード・ディスク・ドライブなど、コンピュータから電力を得る周辺機器を使う場合も、バッテリーの持続時間を縮める原因になります。このような装置を取り外すことによって、バッテリーの電力を節約することもできます。また、電力が少なくなったときの交換用に、バッテリーをもう 1 つ購入することもできます。バッテリーの電力の節約について詳しくは、79 ページの「バッテリーを長持ちさせるためのヒント」を参照してください。

光学式ドライブにディスクを入れたのに反応がありません。ディスクが光学式ドライブと互換性があるかどうかは、どうすれば分かりますか？

メディアイジェクト（⏏）キーを押して、ディスクを取り出します。アップルのスロットローディング方式の光学式ドライブは、12 cm の円形ディスクにのみ対応しています。規格外のディスクおよび形状が円形でないディスクは、アップルの光学式ドライブでは使用できません。規格外のディスクについて詳しくは、アップルのサービス＆サポートの Web サイト（www.apple.com/jp/support）で「規格外のディスク」を検索してください。

警告：規格外のディスクを光学式ドライブに挿入すると、ドライブが破損することがあります。

外部ディスプレイ、テレビ、またはプロジェクタを MacBook に接続するには、どうすればいいですか？

1 外部ディスプレイまたはプロジェクタの電源を入れます。

2 外部プロジェクタまたはディスプレイにディスプレイケーブルが接続されていることを確認します。

3 適切なアダプタを使って、MacBook にディスプレイケーブルを接続します：

a DVI 接続で外部装置を接続する場合は、Apple Mini-DVI to DVI アダプタ（別売）を使用します。

b VGA 接続で外部装置を接続する場合は、Apple Mini-DVI to VGA アダプタ（別売）を使用します。

c S-Video 接続で外部装置を接続する場合は、Apple Mini-DVI to Video アダプタ（別売）を使用します。

MacBook によって外部ディスプレイ、テレビ、またはプロジェクタが自動的に検出されます。

4 外部ディスプレイの解像度を調節するには、「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルか、メニューバーにあるディスプレイのステータスメニューを使用します。

ディスプレイその他の装置の接続について詳しくは、67 ページの「外部ビデオ出力機能を使用する」を参照してください。

パスワードを忘れてしまいました。どのようにリセットするのですか？

パスワードをリセットするには、お使いのコンピュータに付属のソフトウェアインストール用ディスクから起動します。インストーラが開いたら、メニューバーから「Installer」>「パスワードをリセット」と選択します。画面に表示される指示に従います。

ファンの動作音が聞こえて、MacBook が熱くなっているようです。大丈夫でしょうか？

MacBook は、動作中、本体の温度を安全な範囲内に保つように設計されています。MacBook を通常の温度に保つために、ファンが作動します。また、本体から熱を逃がすので、MacBook の底面が熱くなることがあります。これは正常な動作です。詳しくは、110 ページの「MacBook を使用する」を参照してください。

アプリケーションまたは Mac OS X が正しく動作していないようです。Mac OS X を再インストールする必要がありますか？

問題を解決するためには、その問題が常に特定のアプリケーションで発生するのか、オペレーティングシステムに関連しているのか、ハードウェアの故障の結果なのかなど、いくつかの点を確認する必要があります。再インストールを行う前に、93 ページの「トラブルへの対処方法」を参照して、問題を分析してください。また、アップルのサービス＆サポートの Web サイト（www.apple.com/jp/support）で、数多くの技術的な説明や問題解決のアドバイスを参照することもできます。Mac OS X の再インストールが必要な場合は、100 ページの「コンピュータに付属のソフトウェアを再インストールする」で手順を確認できます。

MacBook にアプリケーションをインストールしましたが、動作していないようです。どこに問い合わせればよいですか？

サポートを受ける方法については、アプリケーションに付属の説明書を確認してください。製造元では、自社で提供しているアプリケーションで発生する可能性のある一般的な問題について認識して、すぐに利用できる対処方法やアップデートを提供していることがよくあります。アップル製以外のアプリケーションの場合、最適なサポートを得るには、製造元に直接問い合わせることをお勧めします。

通信情報機器に関する規制

FCC Compliance Statement

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See instructions if interference to radio or television reception is suspected.

L'utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes: (1) il ne doit pas produire de brouillage et (2) l'utilisateur du dispositif doit étre prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

Radio and Television Interference

This computer equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy. If it is not installed and used properly—that is, in strict accordance with Apple's instructions—it may cause interference with radio and television reception.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device in accordance with the specifications in Part 15 of FCC rules. These specifications are designed to provide reasonable protection against such interference in a residential installation. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

You can determine whether your computer system is causing interference by turning it off. If the interference stops, it was probably caused by the computer or one of the peripheral devices.

If your computer system does cause interference to radio or television reception, try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Turn the television or radio antenna until the interference stops.
- Move the computer to one side or the other of the television or radio.
- Move the computer farther away from the television or radio.
- Plug the computer in to an outlet that is on a different circuit from the television or radio. (That is, make certain the computer and the television or radio are on circuits controlled by different circuit breakers or fuses.)

If necessary, consult an Apple-authorized service provider or Apple. See the service and support information that came with your Apple product. Or, consult an experienced radio/television technician for additional suggestions.

Important: Changes or modifications to this product not authorized by Apple Computer, Inc., could void the EMC compliance and negate your authority to operate the product.

This product has demonstrated EMC compliance under conditions that included the use of compliant peripheral devices and shielded cables between system components. It is important that you use compliant peripheral devices and shielded cables between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, television sets, and other electronic devices.

Responsible party (contact for FCC matters only):
Apple Computer, Inc. Product Compliance,
1 Infinite Loop M/S 26-A, Cupertino, CA 95014-2084,
408-974-2000.

Wireless Radio Use

This device is restricted to indoor use due to its operation in the 5.15 to 5.25 GHz frequency range to reduce the potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite systems.

Cet appareil doit être utilisé à l'intérieur.

無線周波の放射について

AirMac Extreme テクノロジーの無線出力は、FCC による無線周波放射の制限値を下回っています。しかしながら、無線機器の通常のご使用に際しては人体との直接的な接触を最小限にした使いかたをお勧めします。

FCC Bluetooth Wireless Compliance

The antenna used with this transmitter must not be collocated or operated in conjunction with any other antenna or transmitter subject to the conditions of the FCC Grant.

Bluetooth Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la Class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Industry Canada Statement

Complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications. Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.This device complies with RSS 210 of Industry Canada.

Bluetooth Europe–EU Declaration of Conformity

This wireless device complies with the specifications EN 300 328, EN 301-489, and EN 60950 following the provisions of the R&TTE Directive.

Europe—EU Declaration of Conformity

The equipment complies with the RF Exposure Requirement 1999/519/EC, Council Recommendation of 12 July 1999 on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields (0 Hz to 300 GHz). This equipment meets the following conformance standards: EN300 328, EN301 893, EN301 489-17, EN60950

Hereby, Apple Computer, Inc., declares that this 802.11a/b/g Mini-PCIe card is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

Complies with European Directives
72/23/EEC, 89/336/EEC, 1999/5/EC
See http://www.apple.com/euro/compliance

Korea Statements

"당해 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음"

B급 기기 (가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든지역에서 사용할 수 있습니다.

Singapore Wireless Certification

Complies with IDA Standards DB00063

Taiwan Wireless Statements

於 2.4GHz 區域內操作之
無線設備的警告聲明

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

於 5.25GHz 至 5.35GHz 區域內操作之
無線設備的警告聲明

工作頻率 5.250 ～ 5.350GHz 該頻段限於室內使用。

Taiwan Class B Statement

Class B 設備的警告聲明
NIL

VCCI クラス B 基準について

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

External USB Modem Information

When connecting your MacBook to the phone line using an external USB modem, refer to the telecommunications agency information in the documentation that came with your modem.

ENERGY STAR® Compliance

As an ENERGY STAR® partner, Apple has determined that standard configurations of this product meet the ENERGY STAR® guidelines for energy efficiency. The ENERGY STAR® program is a partnership with office product equipment manufacturers to promote energy-efficiency. Reducing energy consumption of office products saves money and reduces pollution by eliminating wasted energy.

廃棄とリサイクルに関する情報

この製品のバックライトランプには水銀が含まれます。お住まいの地域および国の法律に従って廃棄してください。アップルのリサイクルプログラムについては、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment/summary.html

バッテリーの廃棄に関する情報
バッテリーを廃棄する際は、お住まいの地域の条令および廃棄基準に従ってください。

Deutschland*:* Das Gerät enthält Batterien. Diese gehören nicht in den Hausmüll. Sie können verbrauchte Batterien beim Handel oder bei den Kommunen unentgeltlich abgeben. Um Kurzschlüsse zu vermeiden, kleben Sie die Pole der Batterien vorsorglich mit einem Klebestreifen ab.

Nederlands*:* Gebruikte batterijen kunnen worden ingeleverd bij de chemokar of in een speciale batterijcontainer voor klein chemisch afval (kca) worden gedeponeerd.

Taiwan:

廢電池請回收

European Union—Disposal Information:

The symbol above means that according to local laws and regulations your product should be disposed of separately from household waste. When this product reaches its end of life, take it to a collection point designated by local authorities. Some collection points accept products for free. The separate collection and recycling of your product at the time of disposal will help conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment.